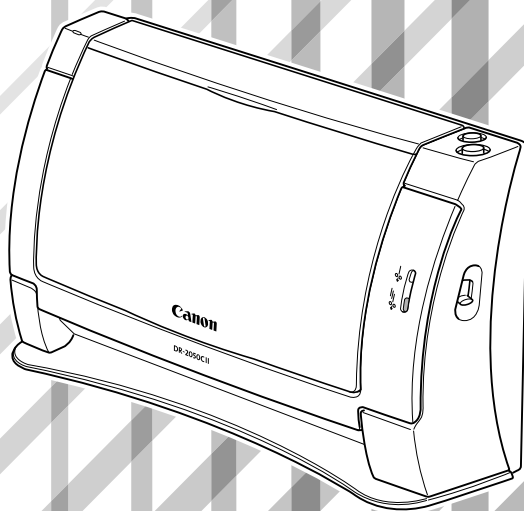


Canon

ドキュメントスキャナ
DR-2050CII/SP

ユーザーズガイド

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。



DR-2050SPをお買い上げのお客さまへ

「プレゼンテーションモード」でお使いになる場合は、別冊の「DR-2050SP ユーザーズガイド
プレゼンテーションモード編」もあわせてお読みください。

■ 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機およびスキャナ等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

■ ご注意

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 複製についてのご注意

- ・ 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、または公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
- ・ 書籍、絵画、版画、地図、図面などの著作物の複製は、自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられていますのでご注意ください。

■ 商標および登録商標について

- ・ Microsoft Windows® は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標です。
- ・ Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Adobe PDF ロゴ および Adobe Readerは、Adobe System Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ・ ISIS は、EMC Corporation. の米国における商標です。
- ・ その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

■ JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品に適合しています。

ソフトウェア製品のパッケージ開封前に必ずお読みください

このたびは、弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。弊社では、弊社のハードウェア製品と同梱のソフトウェア製品につきましては、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書を設けさせていただいており、お客様が下記契約書にご同意いただいた場合にのみソフトウェア製品をご使用いただいております。お手数ではございますが、本ソフトウェア製品のパッケージの開封前に下記契約書を十分にお読みください。下記契約にご同意いただけない場合には、本ソフトウェア製品を未開封のまま速やかに他の未使用の同梱製品とともに買い上げいただいた販売店にご返却ください。この場合、お支払い済の代金をお返し致します。なお、本ソフトウェア製品のパッケージを開封された場合には、お客様が下記契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

ソフトウェア製品使用許諾契約書

キヤノン電子株式会社（以下キヤノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供するソフトウェア製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾プログラム」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾プログラム」およびその複製物に関する権利はその内容によりキヤノンまたはキヤノンのライセンサーに帰属します。

1. 使用許諾

- (1) お客様は、機械読取形態の「許諾プログラム」を一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピュータで「許諾プログラム」を使用したり、また「許諾プログラム」をコンピュータネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合には、別途契約によりキヤノンからその使用権を取得することが必要です。
- (2) お客様は、「許諾プログラム」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。
- (3) お客様は、本契約に特に定められている場合を除き、「許諾プログラム」の全部または一部を複製、翻訳、他のプログラム言語への変換、修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また、第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2. 「許諾プログラム」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾プログラム」中のソフトウェア・プログラムを1コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾プログラム」中のソフトウェア・プログラムをお客様がご使用のコンピュータのハードディスクなどの記憶装置1台のみにコピーすることができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾プログラム」を複製できません。お客様は、「許諾プログラム」の複製物に含まれる著作権表示を改変あるいは除去してはなりません。

3. 保証

キヤノンは、お客様が「許諾プログラム」を購入した日から90日の間、通常の使用状態にて、「許諾プログラム」が格納されている「プログラムディスク」に物理的な欠陥がないことを保証します。この保証は、「プログラムディスク」の欠陥が「許諾プログラム」の事故あるいは誤用による場合には適用しないものとします。この保証は、「許諾プログラム」に関するキヤノンの保証のすべてであり、お客様ご自身に対してのみ保証いたします。

4. サポートおよびアップデート

キヤノンおよび販売店は、「許諾プログラム」のメンテナンスおよびその使用についての援助を行わないものとします。「許諾プログラム」のアップデート、修理、およびサポートも行いません。

5. 保証の否認・免責

- (1) 第3項に定める場合を除き、キヤノンおよび販売店は、「許諾プログラム」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾プログラム」にバグがないこと、その他「許諾プログラム」に関していかなる保証もいたしません。
- (2) キヤノンおよび販売店は、「許諾プログラム」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾プログラム」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

6. 輸出

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な許可等を得ることなしに、一部または全部を問わず、「許諾プログラム」を直接または間接に輸出してはなりません。

7. 契約期間

- (1) 本契約は、お客様が「許諾プログラム」のパッケージを開封した時点で発効します。
- (2) お客様は、キヤノンに対して30日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。
- (3) お客様は、「許諾プログラム」およびその複製物を廃棄または消去することにより本契約を終了させることができます。
- (4) キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。
- (5) 本契約は、上記(2)、(3)または(4)により終了するまで有効に存続します。上記(2)、(3)または(4)により本契約が終了した場合、キヤノンおよび販売店は、「許諾プログラム」の代金をお返しいたしません。お客様は、「許諾プログラム」の代金の返還をキヤノンおよび販売店に請求できません。
- (6) お客様には、本契約の終了後2週間以内に、「許諾プログラム」およびその複製物を廃棄または消去したうえ、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

8. 一般条項

- (1) 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。
- (2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

9. U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS NOTICE:

The SOFTWARE is provided with RESTRICTED RIGHTS. Use, duplication or disclosure is subject to restrictions as set forth in either subparagraph (c) (1) (ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software Clause at DFARs 252.227-7013 or subparagraph (c) (1) and (2) of the Commercial Computer Software Restricted Rights Clause at FAR 52.227-19, as applicable.

10. 完全合意

本契約は「許諾プログラム」の使用に関して当事者間の合意のすべてを構成するものであり、当該事項に関する書面または口頭によるすべての事前および同時発生の理解や合意に優先します。本契約のいかなる修正や変更も書面によってなされ、正式に権限を授与されたキヤノンの代表者によってかかる書面に署名された場合にのみ発効するものとします。

以上

キヤノン電子株式会社

はじめに

このたびはキャノンDR-2050CII/SPスキャナをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みいただくとともに、お読みになったあとは必ず保管してください。

DR-2050CII/DR-2050SPは、小型シートスルータイプのドキュメントスキャナです。DR-2050SPには通常のドキュメントスキャナの機能に加えて、パソコンを介さずに直接液晶プロジェクタと接続し、スキャンした原稿の画像をスクリーンに投写する「プレゼンテーションモード」が搭載されています。

マニュアルの構成について

DR-2050CII/DR-2050SPに同梱されているマニュアルは以下の構成になっています。DR-2050CII/DR-2050SPをお使いになる前に必ずお読みください。DR-2050SPを「プレゼンテーションモード」でお使いになるときは、別冊の「プレゼンテーション編」を合わせてお読みください。

	DR-2050CII	DR-2050SP
1. DR-2050CII/SP 簡単スタートガイド	○	○
2. DR-2050CII/SP ユーザーズガイド (本書)	○	○
3. DR-2050SP ユーザーズガイド プレゼンテーションモード編	—	○

1. 簡単スタートガイド

DR-2050CII/SPを箱から取り出してから、お使いになるまでのセットアップ手順について書かれています。

- STEP.1 付属品を確認する
- STEP.2 保護部材の取り外し～ローラの取り付け
- STEP.3 ソフトウェアのインストール
- STEP.4 コンピュータとの接続～電源のオン (スキャナの認識)
- STEP.5 スキャン
- STEP.6 プレゼンテーションモードの準備
- STEP.7 プレゼンテーションモードの確認

2. ユーザーズガイド (本書)

スキャナの準備、スキャンの手順など、スキャナの取り扱いについて書かれています。

第1章 お使いになる前に (P.5～)

お使いになる前に守っていただきたい注意事項、本機の特長、各部の名称、動作環境、セットアップディスクについて書かれています。

第2章 スキャナの使用法 (P.17～)

原稿について、本機の取り扱い、スキャン方法、こんなときは (スキャンを行なう際のヒント)、クイックガイド (ソフトウェアを設定する際の簡易ガイド) について書かれています。

第3章 付 録 (P.53～)

日常のメンテナンス、困ったときは (トラブルシューティング)、本機の仕様、サポート情報が書かれています。

3. DR-2050SP ユーザーズガイド プレゼンテーションモード編

DR-2050SPの「プレゼンテーションモード」の使用法について書かれています。「プレゼンテーションモード」をお使いになる前に必ずお読みください。

本書内の表記について

ここでは、本書で使用している記号・表示について説明します。本書をお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

(→ P.12)

参照ページを表します。カッコ内の数字は、書かれていることについての詳しい説明が記載されているページ数です。

警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

お願い

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。

メモ

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

目次

はじめに	1
マニュアルの構成について	1
本書内の表記について	2
第1章 お使いになる前に	5
1. 安全にお使いいただくために	6
設置場所について	6
ACアダプタについて	7
スキャナの移動	7
日常の取り扱いについて	8
廃棄について	9
2. 本機の特長	10
3. 各部の名称と機能	12
4. 動作環境の確認	14
5. セットアップディスクについて	16
第2章 スキャナの使用法	17
1. 原稿について	18
2. スキャナの準備	19
給紙トレイの準備	19
原稿ガイドアダプタの使用	20
給紙補助プレートの使用	20
3. 原稿のセット	21
分離給紙の手順	21
非分離給紙の手順	24
半折り原稿のセット	25
4. スキャン方法	26
CapturePerfectによるスキャン	26
ジョブ機能によるスキャン	32
イベント機能の設定	35
5. 紙詰まりの処理	39
6. こんなときは	41
7. ソフトウェアの設定項目	45
ISIS ドライバの設定項目	46
TWAIN ドライバの設定項目	48
ジョブ登録ツールの設定項目	50
第3章 付録	53
1. 日常のお手入れ	54
本体の清掃	54
本体内部の清掃	54
読み取りガラスとローラの清掃	55
金属ローラの清掃	57

2. ローラの取り外し / 取り付け	58
ローラの交換時期	58
カウンタのリセット	59
フィードローラの取り外し / 取り付け	61
リタードローラの取り外し / 取り付け	64
3. 困ったときは	67
4. ソフトウェアのアンインストール	74
ISIS/TWAIN ドライバ / ジョブ登録ツールのアンインストール	76
CapturePerfect のアンインストール	77
5. 仕様	79
仕様	79
交換部品	80
外形寸法図	81
保証とアフターサービス	82
修理受付窓口	83
サービス & サポートのご案内	84
保守サービスのご案内	85
アドビシステムズ社製品について	86
索引	88

第 1 章 お使いになる前に

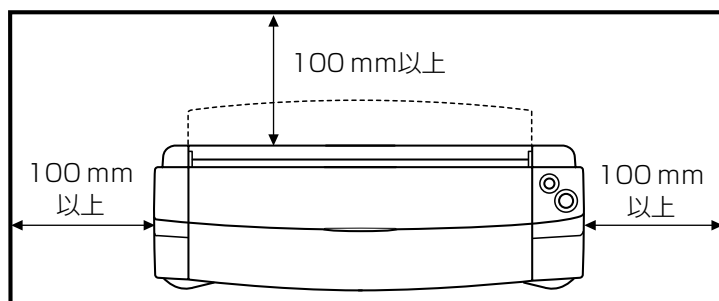
1. 安全にお使いいただくために	6
設置場所について	6
AC アダプタについて	7
スキャナの移動	7
日常の取り扱いについて	8
廃棄について	9
2. 本機の特長.....	10
3. 各部の名称と機能	12
4. 動作環境の確認	14
5. セットアップディスクについて	16

1. 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

設置場所について

本機の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が、次の環境条件に合っていることを確認してください。



- 本機の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。
- 本機前方に読み取った原稿を排紙するためのスペースを十分確保してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
- ほこりの多い場所は避けてください。ほこりは本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。
- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。

室温 10℃—32.5℃
湿度 20%—80%RH

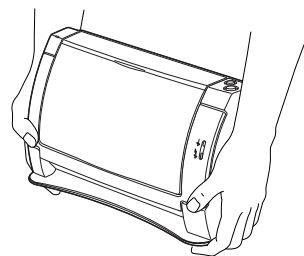
- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気を発生する機器の近くは避けてください。

ACアダプタについて

- 電源は必ず100Vのコンセントからとってください。
- 他の電気機器と同じコンセントを使用しないでください。また、延長コードを使う場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。
- ACアダプタの分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- ACアダプタおよび電源コードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードを強く引っ張らないでください。電源プラグを抜くときは、電源プラグを持ち、そのまま抜いてください。
- 非常時に電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。
- 付属のACアダプタ以外は使用しないでください。また、付属のACアダプタを他の製品に使用しないでください。
- 電源について不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

スキャナの移動

- スキャナを移動する場合は、本体を落とさないように必ず両手でしっかり持ってください。スキャナ本体の質量は約2.5kgです。
- スキャナを移動する場合は、インターフェースケーブルやACアダプタを、必ず外しておいてください。ケーブル類を付けたまま持ち運ぶと、無理な力が加わってプラグやコネクタが損傷することがあります。



リモコンについて (DR-2050SPのみ)

- リモコンを床に放置しないでください。踏み付けて破損するおそれがあります。
- リモコンを分解しないでください。
- リモコンは紛失しないように注意してください。
- リモコンを落としたり衝撃を与えないでください。
- 付属のリモコン以外は使用しないでください。また、本機以外の製品に使用しないでください。
- リモコンを長時間使用しないときは乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- リモコンの乾電池を交換するときは2本とも新しい電池と交換してください。
- 乾電池の(+)、(-)を正しく入れてください。
- 古い電池や種類の違う電池とまぜないでください。
- ニッカド電池やニッケル水素電池は使用しないでください。
- リモコンに使用した乾電池を廃棄するときは、必ずその地域の条例に従ってください。

日常の取り扱いについて

警告

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- タコ足配線をしないでください。
- 電源コードを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- 付属の電源コード、ACアダプタ以外は使用しないでください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
- ACアダプタの分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 清掃の際は電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 本機の清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
- 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一本機が破損した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 通気孔をふさがないでください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

- 本機の上には、クリップ、ステイプルの針、ネックレスなどの金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になることがあります。万一これらが本機の中に入ってしまった場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 本機の上には物を載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源コードが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。
- 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ずACアダプタのプラグを本体から抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などはご注意ください。万一巻き込まれた場合は、直ちに電源スイッチを切って機械を停止してください。
- 原稿をセットするときや、詰まった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

廃棄について

- 本機を廃棄するときは、必ず法律およびその地域の条例に従って廃棄するかお買い求めの販売店にご相談ください。
- DR-2050SP をお使いの場合、リモコンに使用した乾電池を廃棄するときは、必ずその地域の条例に従って廃棄してください。

2. 本機の特長

DR-2050CII/SPの主な特長は以下のとおりです。

- **コンパクトサイズ**
幅 298 mm × 高さ 197 mm × 奥行き 100 mm の非常にコンパクトなサイズです。また、縦置きタイプなので設置の場所をとりません。
- **高速原稿給紙**
小型ながら名刺サイズからA4までの原稿を最大20枚/分で読み取ります。(読取条件：白黒/A4 縦/両面/200dpi)
- **USB2.0 インタフェース**
コンピュータとの接続は、Hi-Speed USB2.0 で行います。
- **カラー/グレースケール対応**
原稿を 24 ビットカラーや 256 階調グレースケールで読み取ることができます。
- **多様な読み取りモードをサポート**
原稿の種類によって以下のような様々な読み取りモードに対応しています。
 - 片面または両面モード
 - 連続または手差し給紙
- **自動原稿サイズ検知**
読み取った原稿のサイズは自動的に検知され、定型外の原稿も原稿の周りの余分なスペースは省かれて保存されます。
- **半折りスキャン**
半折りにした原稿をそのままセットし、両面スキャンしてできた2枚の画像を1枚の画像に合成します。
- **斜行補正**
原稿が斜めに給紙された場合、スキャンされた画像をまっすぐに補正します。
- **文字強調モード**
下地が濃い原稿や薄い鉛筆書きの原稿の文字の部分を読みやすくするテキストエンハンスモードと、背景が均一で文字、背景ともに薄い原稿の文字を読みやすくするアドバンステキストエンハンスメントモードを備えています。
* 原稿によっては有効に機能しない場合があります。
- **ドロップアウトカラー**
原稿の中の特定の色を読み取らないようにする(ドロップアウト)機能を備えています。
- **自動白紙スキップ機能**
原稿が片面であるか両面であるかを気にせずにスキャンを行える、自動白紙スキップ機能を備えています。
- **プレスキャン機能**
プレスキャンした画像をモニターしながら濃度・コントラストを調整し、その後アプリケーションソフトウェアに画像が渡されるプレスキャン機能を備えています。原稿を再度スキャンする必要はありません。

- **ジョブ機能**
原稿を給紙口にセットし、スキャンボタンによりスキャンが開始されるジョブ機能を備えています。
- **自動スタート**
原稿を給紙口にセットすると、原稿を検知して自動的にスキャンが開始される自動スタート機能を備えています。
- **感圧紙対応**
感圧紙もスキャンすることができます。
- **省電力モード**
スキャン実行時以外は、省電力モードに入る省エネ設計です。
- **プレゼンテーションモード (DR-2050SPのみ)**
パソコンを介さずに本機をプロジェクタに直接接続し、スキャンした画像はプロジェクタからスクリーンに投写されます。詳細については、「DR-2050SP ユーザーズガイド プレゼンテーションモード編」をお読みください。



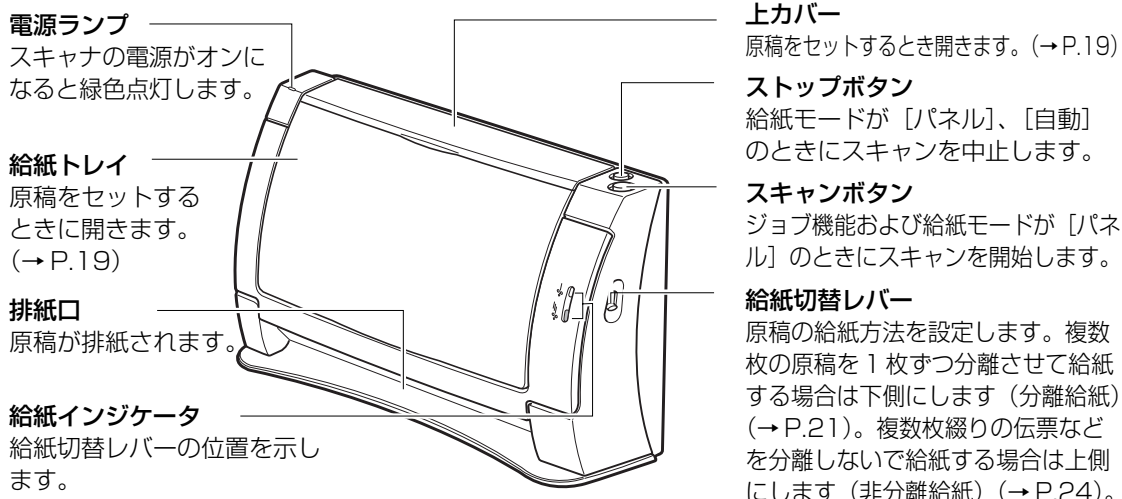
メモ

記載されている機能によっては、お使いのアプリケーションソフトウェアで使用できない場合があります。

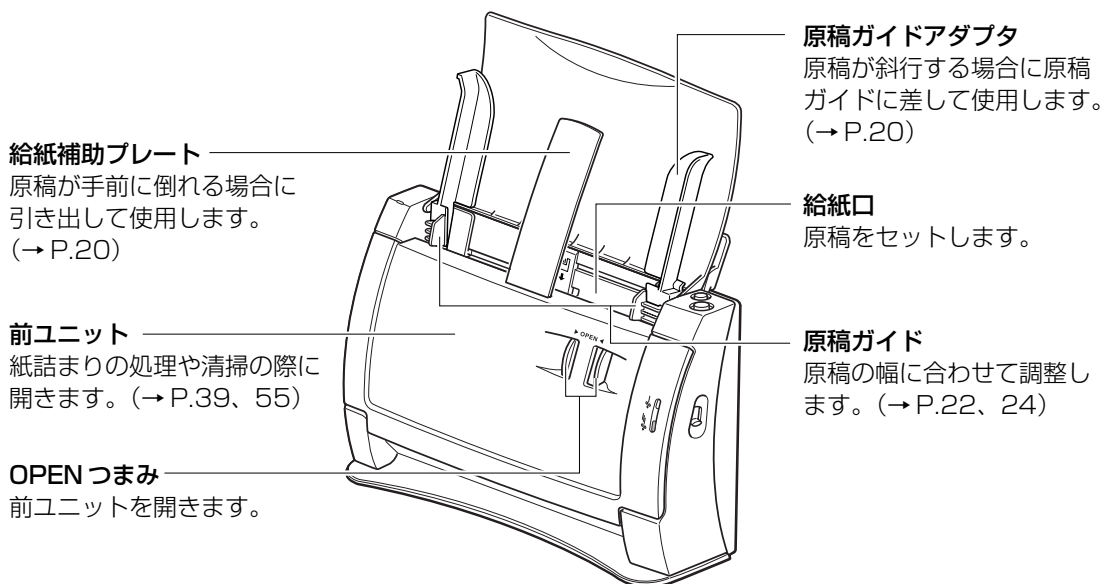
3. 各部の名称と機能

DR-2050CIIの各部の名称と機能について説明します。本機を使用する前にご確認ください。DR-2050SPの各部の名称と機能については、別冊の「DR-2050SP ユーザーズガイド プレゼンテーションモード編」をごらんください。

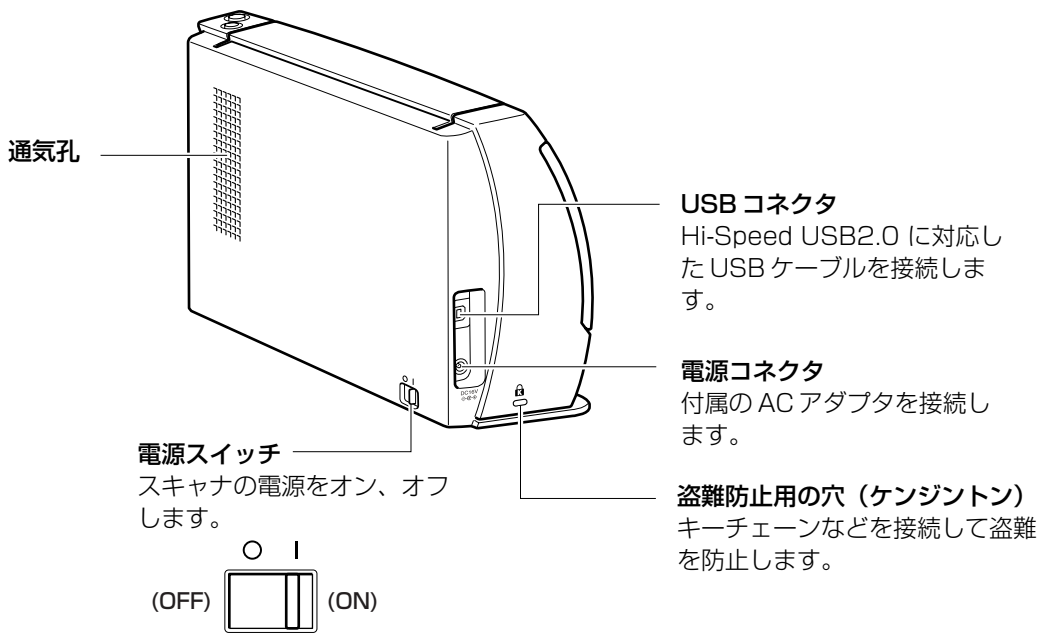
■ 前面・右側面



■ 前面 (上カバーと給紙トレイを開いた状態)

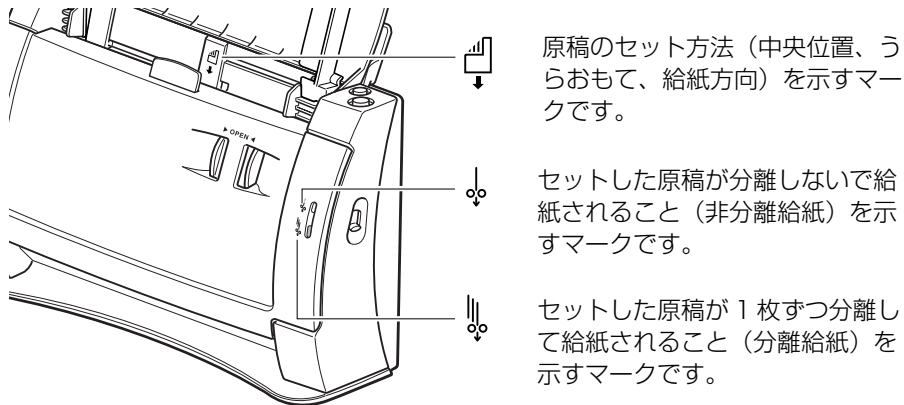


■ 背面・左側面



! 注意
通気孔をふさがないでください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■ マークについて



4. 動作環境の確認

本書に記載されている仕様を満たし、DR-2050CII/SP を快適にお使いいただくためには次のシステム要件を推奨します。

- オペレーティングシステム
 - ・ Microsoft Windows 98SE
 - ・ Microsoft Windows Me
 - ・ Microsoft Windows 2000 Professional SP4 以上
 - ・ Microsoft Windows XP Professional SP2 以上
 - ・ Microsoft Windows XP Home Edition SP2 以上
 - ・ Microsoft Windows XP Professional x64 Edition
 - ・ Microsoft Windows Vista Home Basic
 - ・ Microsoft Windows Vista Home Premium
 - ・ Microsoft Windows Vista Business
 - ・ Microsoft Windows Vista Ultimate
 - ・ Microsoft Windows Vista Enterprise
- パーソナルコンピュータ
 - ・ CPU : Intel Celeron 733MHz 以上
 - ・ メモリ : 256MB 以上
 - ・ ハードディスク : 512MB 以上の空き容量
 - ・ CD-ROM ドライブ
 - ・ USB インタフェース
 - ・ モニタ : 解像度 1024 × 768(XGA)以上
- USB インタフェースは接続する OS によって以下のようになります。
 - ・ Windows 98SE/Me : USB Full-Speed (USB 1.1 相当)
 - ・ Windows 2000/XP : Hi-Speed USB 2.0 /USB Full-Speed (USB 1.1 相当)
 - ・ Windows Vista : Hi-Speed USB 2.0
- 上記のシステム環境で正常に動作する ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェア。



お願い

- お使いのコンピュータのシステム要件が不明な場合には、コンピュータをお買い求めになった販売店または、コンピュータメーカーのサポート窓口にお問い合わせください。
- USB2.0 ドライバはマイクロソフト社から提供されている最新のドライバをお使いください。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- USB インタフェースは、コンピュータに標準装備された USB ポートを使用してください。ただし、コンピュータに標準装備されたすべての USB インタフェースにおいて、動作を保証するものではありません。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

- コンピュータに標準装備された USB インタフェースが USB Full-Speed (USB 1.1 相当) の場合、スキャン速度が低下します。
- USB ケーブルは、同梱品または Hi-Speed USB 2.0 対応のケーブルをお使いください。
- CPU、メモリ、インタフェースカード等、コンピュータの推奨仕様を満たさない場合、スキャン速度が大幅に低下したり転送速度に時間を要する場合があります。
- コンピュータの推奨仕様を満たしている場合でも、読み取りの設定によっては、スキャン速度が低下する場合があります。
- 同梱されている ISIS/TWAIN ドライバは、すべての ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェアで動作するとは限りません。詳細についてはアプリケーションソフトウェアの販売元にお問い合わせください。

5. セットアップディスクについて

DR-2050 シリーズのセットアップディスクには、以下のソフトウェアが収納されています。

- **DR-2050C Driver**
DR-2050CII/SP を使用するためのスキャナドライバです。
- **CapturePerfect3.0**
キヤノンドキュメントスキャナ用に開発された、ISIS 互換アプリケーションです。



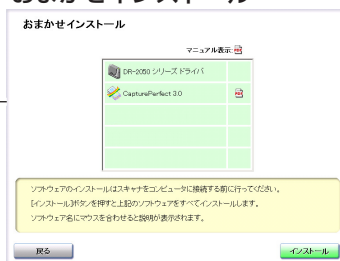
メモ

- DR-2050 シリーズのセットアップディスクは、以下の構造になっています。ソフトウェアのインストールは、「おまかせインストール」または「選んでインストール」から実行します。

メニュー画面

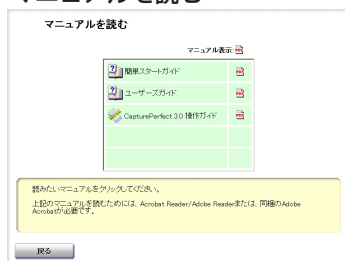


おまかせインストール



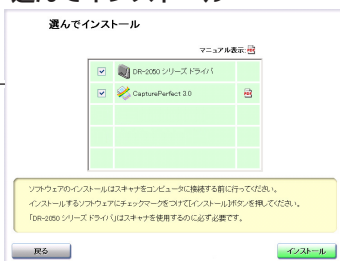
*表示されているすべてのソフトウェアがインストールされます。

マニュアルを読む



* スキャナに同梱されている「簡単スタートガイド」、「ユーザーズガイド」のPDFマニュアルです。

選んでインストール



* チェックマークを付けたソフトウェアがインストールされます。

第2章 スキャナの使用法

1. 原稿について	18
2. スキャナの準備	19
給紙トレイの準備	19
原稿ガイドアダプタの使用	20
給紙補助プレートの使用	20
3. 原稿のセット	21
分離給紙の手順	21
非分離給紙の手順	24
半折り原稿のセット	25
4. スキャン方法	26
CapturePerfect によるスキャン	26
ジョブ機能によるスキャン	32
イベント機能の設定	35
5. 紙詰まりの処理	39
6. こんなときは	41
7. ソフトウェアの設定項目	45
ISIS ドライバの設定項目	46
TWAIN ドライバの設定項目	48
ジョブ登録ツールの設定項目	50

1. 原稿について

本スキャナは、名刺、小切手などの大きさから A4 サイズまでの原稿を読み取ることができます。読み取ることのできる原稿の大きさは以下のとおりです。

分離給紙（連続給紙）の場合（→ P.21 「分離給紙の手順」）

幅 : 55 ~ 216 mm
長さ : 70 ~ 297 mm
厚さ : 52 ~ 128 g/m² (0.06 ~ 0.15 mm)

非分離給紙（1枚給紙）の場合（→ P.24 「非分離給紙の手順」）

幅 : 55 ~ 216 mm
長さ : 70 ~ 355 mm
厚さ : 42 ~ 157 g/m² (0.05 ~ 0.20 mm)



お願い

読み取る原稿には一定の基準があります。次の項目をよくお読みください。

- 複数枚の原稿を一度に読み取るときは、原稿のサイズ、厚さ、紙質をそろえてください。異なる条件の原稿を給紙すると、紙詰まりの原因になります。
- インクが乾いていない原稿は、ローラや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。必ず乾かしてから読み取りを行ってください。
- 鉛筆などで書かれた原稿は、ローラや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。このような原稿を読み取ったあとは、スキャナの内部を清掃してください。
- 薄い紙の両面原稿を読み取る場合、読み取ったときに裏写りすることがあります。あらかじめアプリケーションソフトウェアで読み取る明るさを調整してから実行してください。
- 次のような原稿を読み取ろうとすると、紙詰まりや故障の原因になりますのでご注意ください。このような原稿を読み込むときは、複写機でコピーしてから行ってください。



しわや折り目が入っている。



カール（巻き付け）がある。



破れている。



クリップやステイプルの針が付いている。



カーボン紙。



表面がコーティングされている。



半透明の薄紙など極端に薄い。



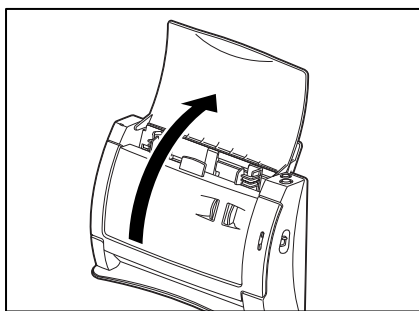
四角いとじ穴がある。

2. スキャナの準備

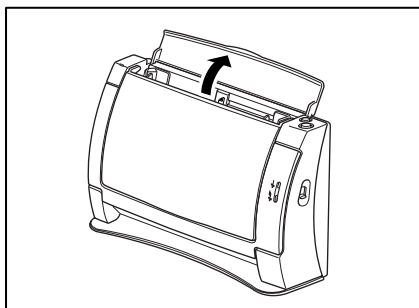
原稿のサイズや種類に応じて給紙トレイを準備します。

給紙トレイの準備

給紙トレイを開きます。

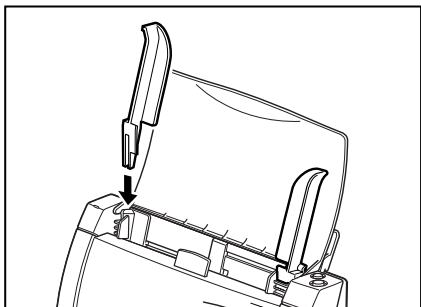


短い原稿のときは、上カバーのみを開きます。



原稿ガイドアダプタの使用

スキャン時に原稿が斜行する場合や、半折り原稿をセットする場合（→P.25）に、原稿ガイドアダプタを原稿ガイドに取り付けて、原稿の斜行を抑えます。原稿ガイドアダプタは図の向きに取り付けます。原稿ガイドアダプタの二股に分かれている部分の間に、原稿ガイドを奥までしっかり差し込んでください。



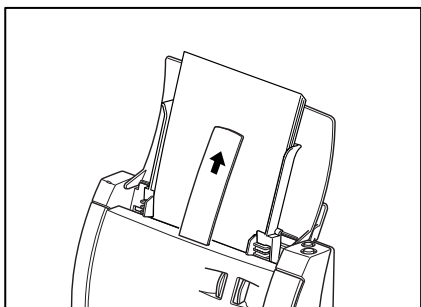
メモ

原稿ガイドアダプタを取り付けても原稿の斜行が改善されないときは、ISIS/TWAIN ドライバの設定で斜行補正をオンにしてください。（→P.45）

給紙補助プレートの使用

以下のようなときは、原稿ガイドアダプタを取り付け、原稿をセットしてから給紙補助プレートを引き出してください。

- 原稿が手前に倒れるようなとき
- 紙厚の薄い原稿など、原稿が途中で曲り手前に出てくるようなとき



3. 原稿のセット

原稿の給紙方法として、セットされた原稿の束を 1 枚ずつ分離しながら連続給紙する「分離給紙」と、原稿を 1 枚ずつ手差しで給紙および、複数枚綴りの伝票を綴じたまま読み取ることのできる「非分離給紙」があります。給紙方法は、給紙切替レバーの上下により切り替えます。



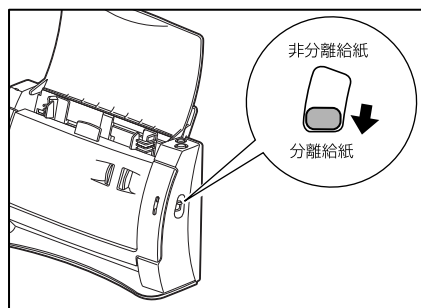
お願い

- 原稿をセットする前に、クリップやステイブルの針などが紛れ込んでいないか必ず確認してください。万一これらが紛れ込んでいると、大事な原稿が破れたり、紙詰まりを起こしたり、あるいは本機の故障の原因になります。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などご注意ください。万一巻き込まれた場合は、直ちに電源プラグを本体から抜いて機械を停止してください。
- 原稿の先端がカールしていると原稿が折れたり紙詰まりの原因になります。カールが大きい場合にはカールを矯正してからスキャナにセットしてください。

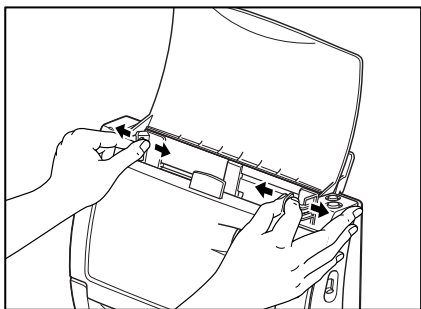
分離給紙の手順



給紙切替レバーを下側（分離給紙）にします。

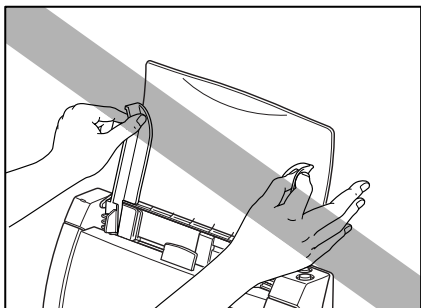


- 2** 原稿ガイドを読み取る原稿の幅に合わせます。

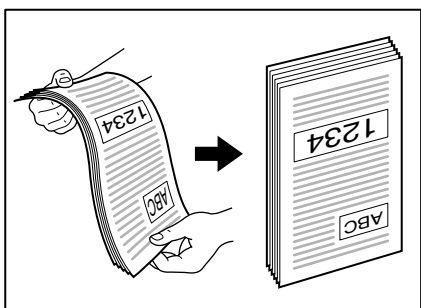


お願い

原稿ガイドアダプタを取り付けているときは、原稿ガイドアダプタの先端は持たないでください。原稿ガイドアダプタの先端を持って動かすと、原稿トレイの破損の原因になります。



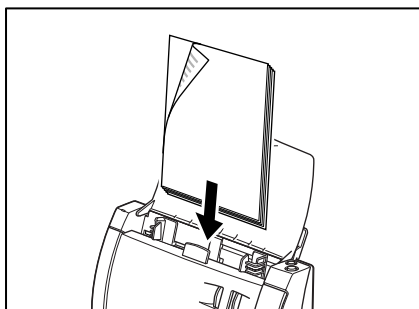
- 3** 読み取る原稿の束をさばき、図のように先頭ページの上辺が一番低くなるようにずらしておきます。(原稿は上辺を下にしてセットします。)



注意

原稿をセットするときは慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど思わぬけがをすることがあります。

- 4 ▶ 原稿のうら面を手前に向け、原稿の上辺を下にしてセットします。

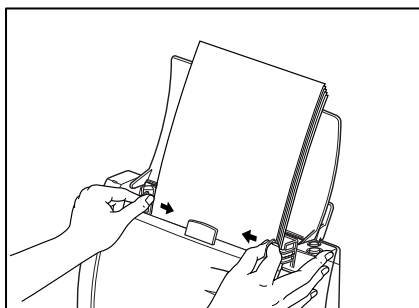


お願い

原稿の積載枚数は、カールしていない原稿で最大 50 枚です。ただし、原稿が正しく給紙されない場合は、原稿の枚数を減らしてください。



- 5 ▶ 原稿ガイドを原稿の幅に合わせて調整します。



メモ

スキャンを始める前に、原稿が正しくセットされていることを確認してください。原稿が丸まっていたり折れている状態でスキャンを行うと原稿が破損することがあります。



- 6 ▶ アプリケーションソフトウェアで、スキャンを開始します。

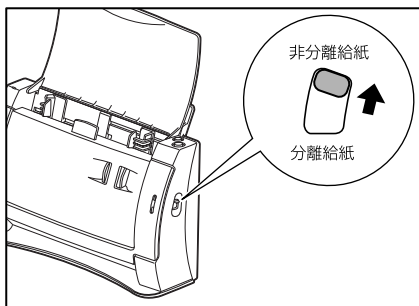


お願い

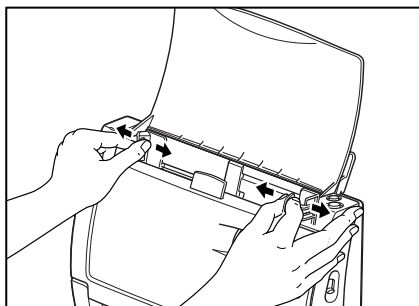
- 読み取り中に、システムエラーまたは紙詰まりによって給紙が停止した場合は、処理をしたあと、給紙している原稿の最後のページが正しく記録されていることを確認してから読み込み作業を続けてください。
- 読み取りが終了し、スキャナを使用しないときは、機械の損傷を防ぐために給紙トレイと上カバーを閉じてください。

非分離給紙の手順

- 1 給紙切替レバーを上側（非分離給紙）にします。

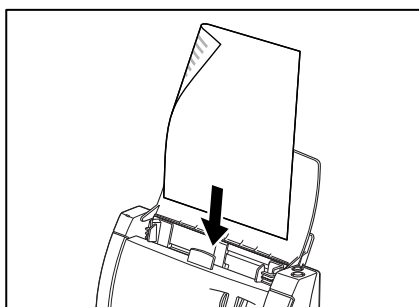


- 2 原稿ガイドを読み取る原稿の幅に合わせて調整します。



- 3 アプリケーションソフトウェアで、スキャンを開始します。

- 4 原稿のうら面を手前に向け、原稿の上辺を下にしてセットします。
原稿が検知されると読み取りが行われます。



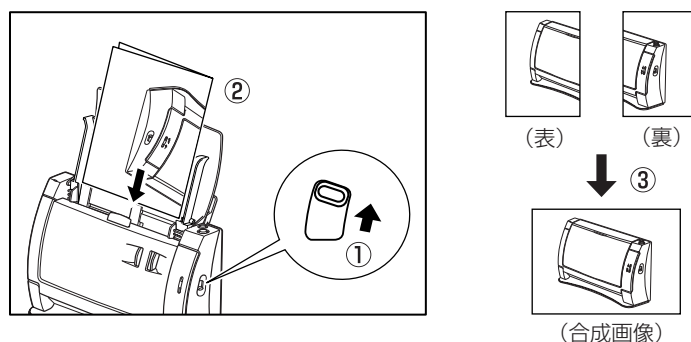


お願い

- 複数枚綴りの伝票などをセットするときは、綴じてある側を下にしてセットしてください。
- 読み取りが終了し、スキャナを使用しないときは、機械の損傷を防ぐために給紙トレイや上カバーを閉じてください。

半折り原稿のセット

給紙口にセットすることのできないA4サイズより大きい原稿（最大A3サイズ）を読み取る方法として「半折りスキャン」があります。半折りスキャンでは、原稿を半折りにしてセットし、半折り原稿の両面を読み取ってできた表裏の画像を1つの画像に合成します。



メモ

- 半折り原稿をスキャンする場合は、給紙切替レバーを上側（上図①）にし、原稿の斜行を抑えるために原稿ガイドアダプタを取り付けます。（→ P.20）
- 半折り原稿をセットするときは、折り目を右側（上図②）にしてスキャナにセットします。半折り原稿の手前になる面の画像が、合成された画像の右半分になります。（上図③）
- 半折りスキャンを行なうときは、ISIS/TWAINドライバの読み取り面の設定を「半折り」にして行ないます。（→ P.46「ISIS ドライバ 設定項目⑦」、P.48「TWAIN ドライバ 設定項目⑦」）
- 合成される画像は最大A3サイズの画像です。非定形サイズの原稿を半折りスキャンする場合には、用紙サイズを「自動検知」にしてください。
- DR-2050SP をプレゼンテーションモードでお使いになる場合、半折りスキャンをすることはできません。



お願い

- 原稿を折るときは、原稿の左右の端を揃えて、折り目をしっかり付けてください。原稿の折り方によっては紙詰まりや画像のズレの原因になります。
- 折り目の部分は、画像の一部が欠落します。折り目に文字や写真などがある原稿をスキャンするときは注意してください。
- 半折りスキャンは非分離給紙で行います。原稿は1枚ずつセットしてください。
- 原稿ガイドは原稿の幅に合わせてください。原稿ガイドの位置が広がっていると斜行、画像のズレの原因になります。

4. スキャン方法

DR-2050CII/SPのスキャン方法には、アプリケーションを起動してスキャンを行なう他に、スキャンボタンを押すだけでスキャンを行なうことができるジョブ機能があります。本項では、同梱されている「CaptuerPerfect 3.0」と「ジョブ機能」の概略とそれぞれのスキャンの手順について説明します。なお、各アプリケーションおよびドライバのインストールについては「簡単スタートガイド」を参照してください。また、DR-2050SPのプレゼンテーションモードについては、別冊の「DR-2050SP ユーザーズガイド プレゼンテーションモード編」をごらんください。

CapturePerfect 3.0 によるスキャン

CapturePerfect 3.0は、キヤノンドキュメントスキャナ用に開発されたISIS互換アプリケーションソフトウェアです。

CaptuerPerfect 3.0には、以下のスキャン方法があり、スキャンメニューからスキャン方法を選択してスキャンを行ないます。

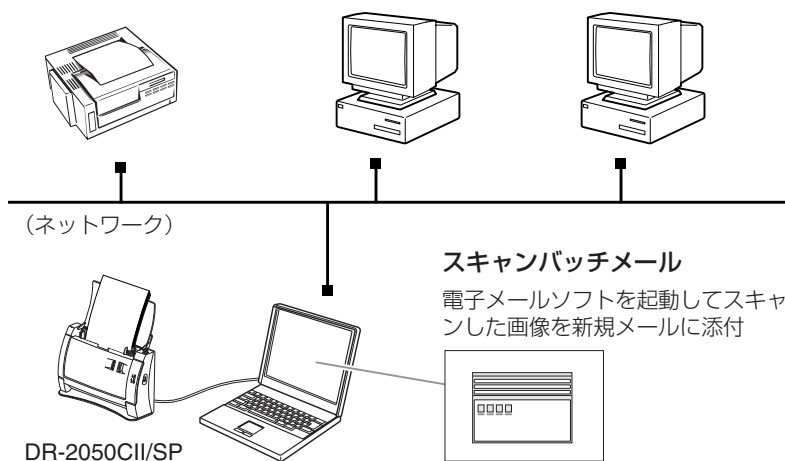
- **スキャンバッチファイル**
設定した読み取り条件でスキャンを行ない、指定したフォルダに画像ファイルを保存します。
- **スキャンバッチプリント**
設定した読み取り条件でスキャンを行ない、指定したプリンタでスキャンした画像を印刷します。
- **スキャンバッチメール**
設定した読み取り条件でスキャンを行ない、電子メールソフトを起動させて、スキャンした画像を新規メールに添付します。

スキャンバッチプリント

スキャンした画像を指定したプリンタで印刷

スキャンバッチファイル

スキャンした画像を指定したフォルダへ保存



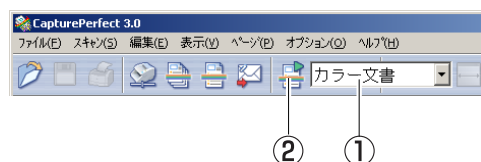
DR-2050CII/SP

- **スキャン1ページ**

スキャン前に読み取り条件を設定し、原稿を1枚スキャンして終了します。

- **スキャンジョブ**

読み取り条件とスキャン方法（スキャンバッチファイル、スキャンバッチプリント、スキャンバッチメール）をあらかじめジョブとして登録しておき、ジョブスキャンの実行は、ツールバーでジョブを選択（①）→スキャンジョブの実行（②）の2つの操作で行ないます。



メモ

スキャンジョブには、あらかじめ以下の2つのジョブが登録されています。

- ・ カラー文書

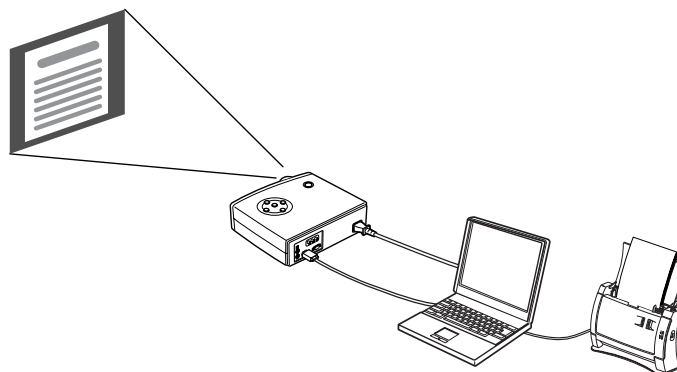
原稿を24ビットカラー、片面300dpiでスキャンし、画像ファイルをマイドキュメントの中にある【My Pictures】フォルダにPDF形式で保存します。

- ・ 白黒文書

原稿を白黒、片面200dpiでスキャンし、画像ファイルをマイドキュメントの中にある【My Pictures】フォルダにPDF形式で保存します。

- **スキャンバッチプレゼンモード**

プレゼンテーションの会場など、大型ディスプレイやプロジェクタが接続された環境で使用する場合に有効なモードで、CapturePerfectを全画面表示に切り替えてスキャンを行ない、スキャンした画像をディスプレイに全画面表示します。



メモ

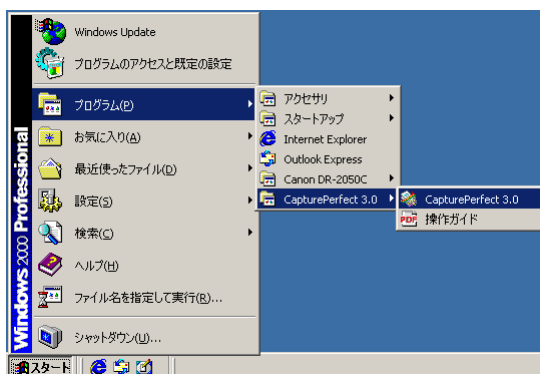
CapturePerfect 3.0の詳細については、CapturePerfect 3.0操作ガイドおよび、CapturePerfect 3.0のヘルプに記載されています。

CapturePerfect 3.0をお使いになる前にCapturePerfect 3.0操作ガイドまたは、ヘルプを参照してください。

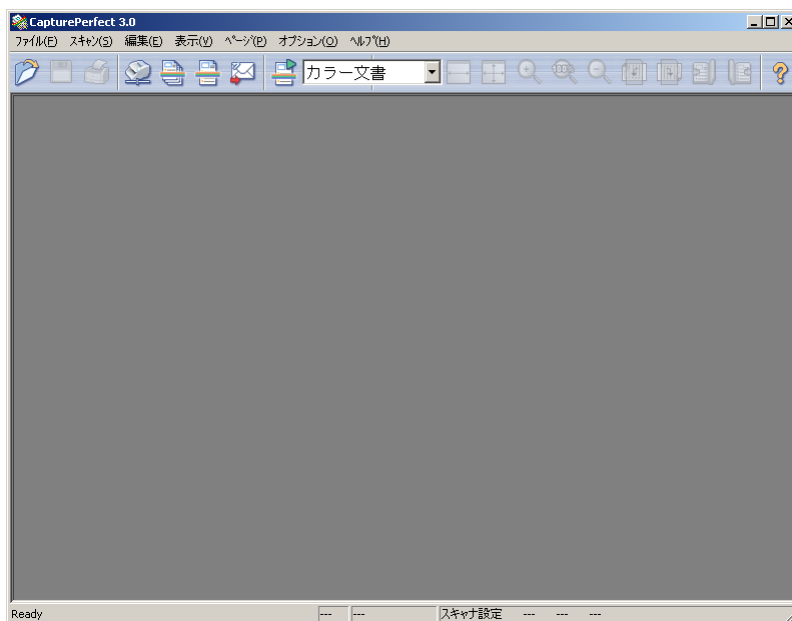
CapturePerfect 3.0 の操作手順

ここでは、CapturePerfect 3.0 の起動からスキャナを選択までの手順と、「スキャンバッチファイル」によるスキャンまでの手順について説明します。
詳細については、CapturePerfect 3.0 操作ガイドまたは、ヘルプを参照してください。

- 1 [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム](Windows XPの場合は[すべてのプログラム])-[CapturePerfect 3.0]-[CapturePerfect 3.0]をクリックします。

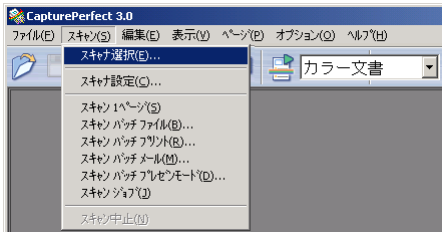


CapturePerfect 3.0 が起動します。

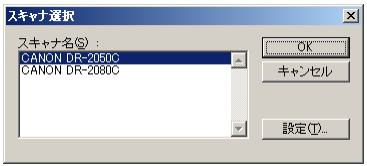


2 使用するスキャナを以下の手順で選択します。

1. [スキャン] メニューから[スキャナ選択]をクリックします。



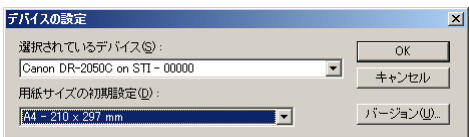
2. [CANON DR-2050C]を選択し、[OK]をクリックします。



 **メモ**

[CANON DR-2050C]が表示されないときは、ISIS/TWAIN ドライバのインストールをやり直してください。(→簡単スタートガイド「Step3. ソフトウェアのインストール」)

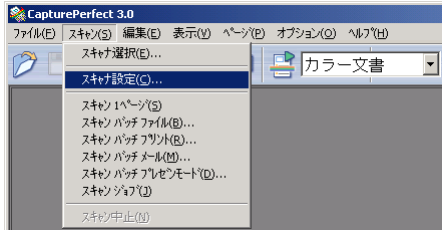
3. 用紙サイズの初期サイズを設定します。



 **メモ**

このダイアログボックスは、[CANON DR-2050C]を初めて選択して[OK]をクリックした時、または [設定] をクリックすると表示されます。

3 [スキャン] メニューから[スキャナ設定]をクリックします。

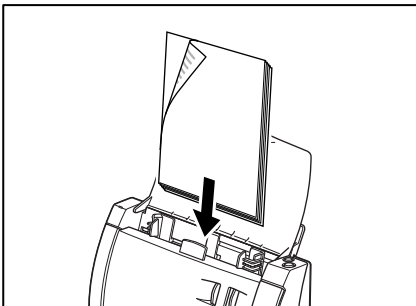


ISIS ドライバの設定ダイアログボックスが開きます。

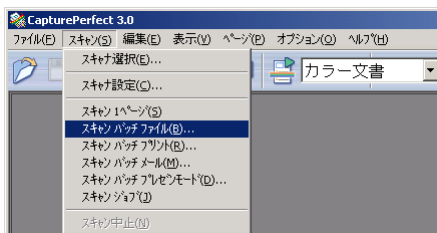


- 4** 読み取り条件を設定します。
読み取り条件の設定については「ISIS ドライバの設定項目」(→ P.46) および、ISIS/TWAIN ドライバのヘルプを参照してください。

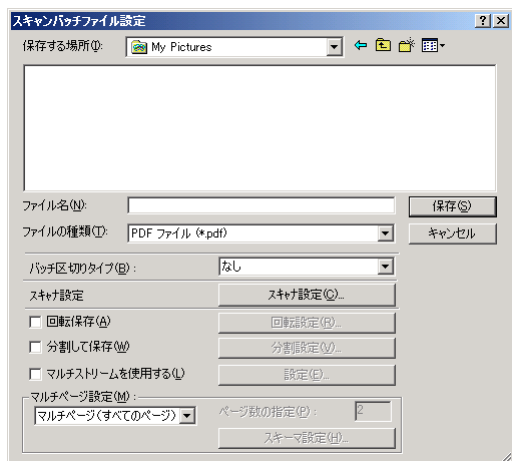
- 5** 原稿をセットします。(→ P.21 「原稿のセット」)



- 6** [スキャン] メニューから [スキャンバッチファイル] を選択します。
ここでは、スキャンバッチファイルの操作手順について説明します。他のスキャン方法については、CapturePerfect 操作ガイドまたは、ヘルプを参照してください。



スキャンバッチファイル設定ダイアログボックスが開きます。

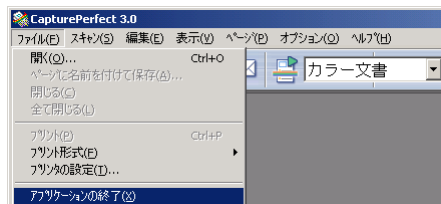


- 7 ▶ 保存するファイル名、ファイル形式を指定し、【保存】をクリックしてスキャンを開始します。

スキャンバッチファイル設定ダイアログボックスの設定については、「CapturePerfect 操作ガイド」または、ヘルプを参照してください。

- 8 ▶ セットした原稿がなくなったらスキャンが中断し、継続ダイアログボックスが表示されます。スキャンを継続する場合は【スキャン継続】を、スキャンを終了させる場合は【スキャンストップ】をクリックします。

- 9 ▶ 読み取りが終了したら、【ファイル】メニューから【アプリケーションの終了】を選択し、CapturePerfect を終了させます。



ジョブ機能によるスキャン

ジョブ機能は、Windows のイベント機能とジョブ登録ツールによってスキャナ本体のスキャンボタンを押すだけでスキャンを行なうことができる機能です。スキャンした画像データは、ジョブ登録ツールによりジョブボタンに登録された機能で自動的に処理されます。

スキャンボタンには、以下の4つの機能から1つを選択して登録します。

- **ファイル保存**

設定した読み取り条件でスキャンを行ない、指定したフォルダに画像ファイルを保存します。

- **印刷**

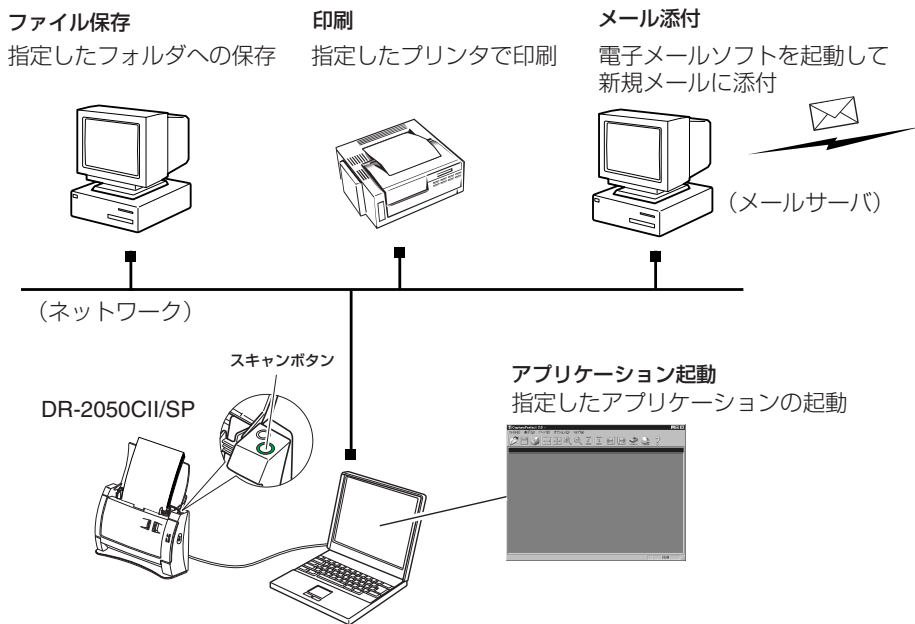
設定した読み取り条件でスキャンを行ない、指定したプリンタでスキャンした画像を印刷します。

- **メール添付**

設定した読み取り条件でスキャンを行ない、電子メールソフトを起動させて、スキャンした画像を新規メールに添付します。

- **アプリケーション起動**

「イベント機能の設定」(→ P.35) で選択した設定したアプリケーションを起動します。

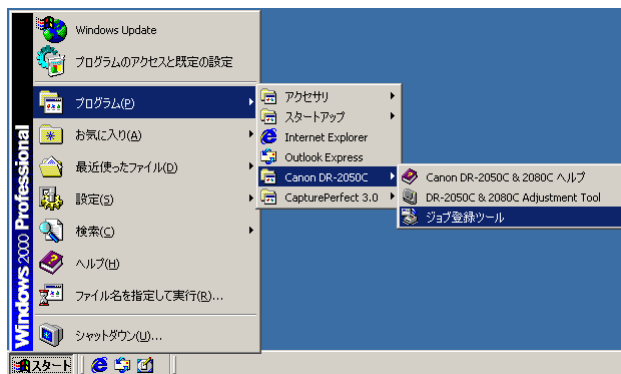


ジョブスキャンの手順

ここでは、ジョブ登録ツールの起動から、ジョブスキャンまでの手順について説明します。ジョブ登録ツールの設定については「ジョブ登録ツールの設定項目」(→P.50) および、ジョブ登録ツールのヘルプを参照してください。

また、「アプリケーション起動」を選択した場合、イベントの設定が必要になります。(→P.35 「イベント機能の設定」)

- 1 [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム](Windows XPの場合は[すべてのプログラム])-[DR-2050C]-[ジョブ登録ツール]をクリックします。



ジョブ登録ツールが起動します。



メモ


- ジョブ登録ツールは、ISIS/TWAIN ドライバと一緒にインストールされる TWAIN 互換アプリケーションソフトウェアで、スキャンボタンを押したときに実行されるジョブを登録します。
- ジョブは、No.1 から No.10 まで登録でき、アイコンに色の付いているジョブがスキャンボタンを押したときに実行されます。


- 2** ジョブを登録します。
ジョブの登録については「ジョブ登録ツールの設定項目」(→P.50) および、
ジョブ登録ツールのヘルプを参照してください。



メモ

- ジョブは、No.1 から No.10 まで登録できます。
- 「アプリケーション起動」を登録した場合、イベントの設定を行いません。
(→P.35 「イベント機能の設定」)

- 3** 登録したジョブの中からスキャンボタンで実行するジョブを選択し、No. の枠にあるアイコン () をクリックします。

ジョブが登録されている No. のアイコンをクリックするとアイコンに色が付きます。()

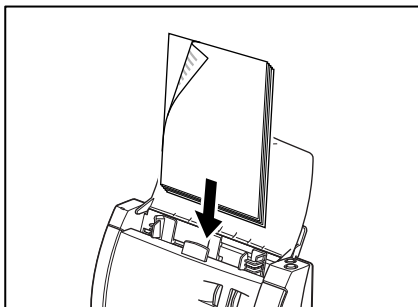


メモ

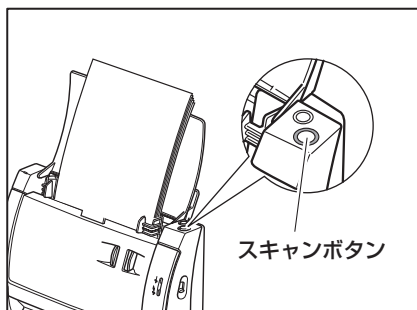
アイコンに色の付いているジョブがスキャンボタンを押したときに実行されます。

- 4** [閉じる] をクリックしてジョブ登録ツールを終了します。
設定を有効にするには必ずジョブ登録ツールを閉じてください。

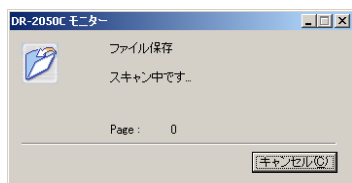
- 5** 原稿をセットします。(→P.21 「原稿のセット」)



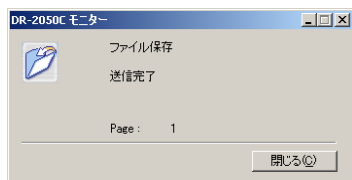
- 6** スキャンボタンを押します。



DR-2050C モニターが表示され、スキャンを実行します。



- 7** 原稿が無くなったら指定された条件で画像データを送信します。
DR-2050C モニターに「送信完了」が表示されます。



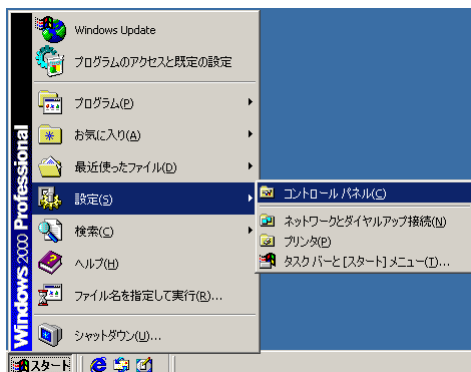
- 8** [閉じる] をクリックして DR-2050C モニターを閉じます。

イベント機能の設定

「イベント」の設定では、ジョブ登録ツールの「アプリケーションを起動」を選択した時に起動させるアプリケーションを選択します。

- 1** 「イベント」の設定ダイアログボックスを以下の手順で開きます。

1. [スタート]ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル]をクリックしてコントロールパネルを開きます。(WindowsXP の場合、[スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックします。



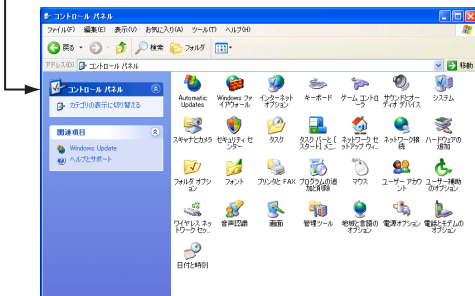
- WindowsXPの場合、コントロールパネルをクラシック表示に切り替えます。または、作業する分野で「プリンタとその他のハードウェア」を選択してください。

コントロールパネル (カテゴリ表示)

プリンタとその他のハードウェア



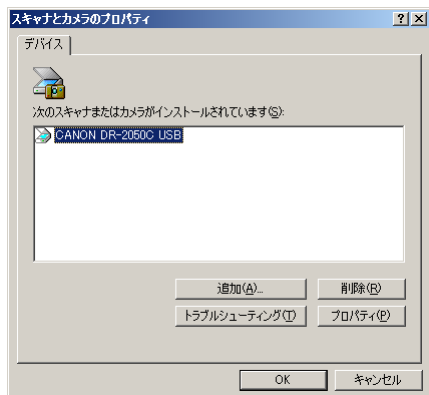
コントロールパネル (クラシック表示)



- 「スキャナとカメラ」をクリックします。



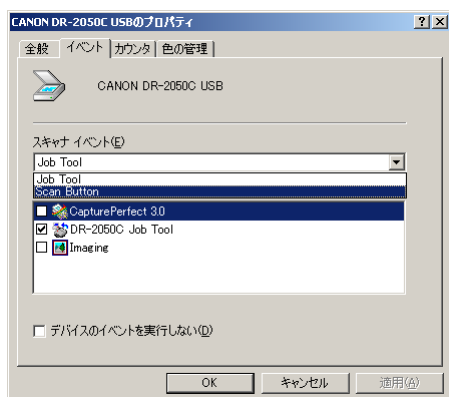
4. [CANON DR-2050C USB] を選択し、[プロパティ] をクリックします。



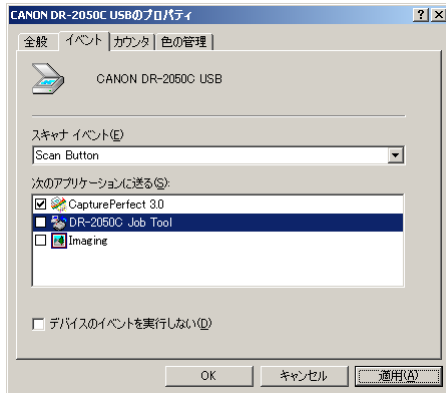
5. [イベント] タブをクリックします。



- 2 「スキャナイベント」を [Scan Button] にします。



- 3 「次のアプリケーションに送る」で、起動させるアプリケーション以外のチェックを外し、[適用] をクリックします。



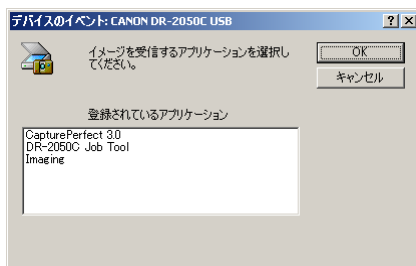
- 4 [OK] をクリックして「スキャナとカメラのプロパティ」を閉じます。

- 5 イベント機能の設定変更を有効にするために Windows を再起動させます。



メモ

- 「次のアプリケーションに送る」で複数のアプリケーションがチェックされていると、「アプリケーションを起動」を選択してスキャンボタンを押した時にアプリケーションを選択するダイアログボックスが表示されます。



- イベントでアプリケーションを起動させた場合、アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
- イベントを使用しない場合、[デバイスのイベントを実行しない]チェックボックスをチェックします。

5. 紙詰まりの処理

原稿をスキャン中に紙詰まりが発生したら、以下の手順に従って処理します。

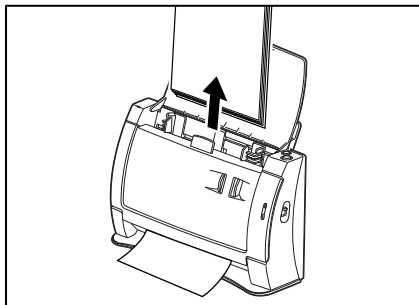


注意

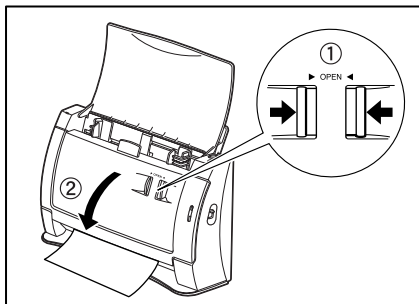
詰まった紙を取り除くときは慎重に行ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。



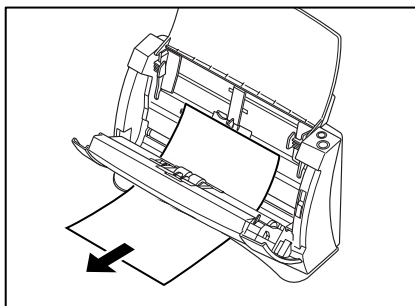
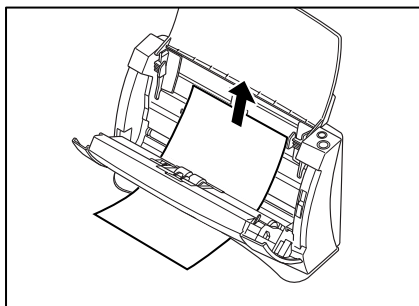
給紙トレイに残っている原稿を取り除きます。



OPENつまみを両側から押して①、前ユニットを手前に開きます②。



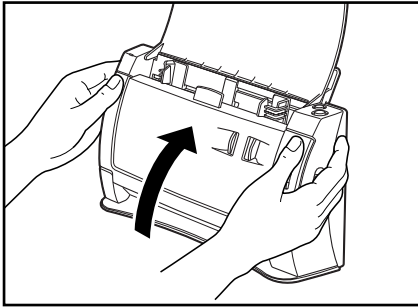
給紙側、または排紙側から詰まった原稿を取り除きます。



お願い

原稿は無理に引っ張らず慎重に取り除いてください。万一原稿が破れてしまった場合は、残りの紙片も必ず取り除いてください。

- 4 ▶ 前ユニット上部の左右をゆっくり押します。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



メモ

処理が終わったら、最後の原稿が記録されているかどうかを確認し、作業を続けてください。

6. こんなときは

DR-2050CII/SPでスキャンを行なう場合の設定例です。ISIS/TWAINドライバを設定する際の参考にしてください。該当項目の設定については、「ソフトウェアの設定項目」(→P.45)を参照してください。

両面原稿の読み取り

- **両面原稿をスキャンしたい。**
読み取り面の設定を「両面」に設定します。
→P.46「ISISドライバ設定⑦」、P.48「TWAINドライバ設定⑦」

非定形サイズ原稿の読み取り

- **非定形サイズの原稿をスキャンしたい。**
定形サイズを指定して非定形サイズの原稿をスキャンすると、原稿の周りに黒い部分ができます。非定型サイズの原稿をスキャンするときは、読み取りサイズの設定を「自動検知」に設定します。原稿のサイズが自動検知されます。
→P.46「ISISドライバ設定③」、P.48「TWAINドライバ設定③」
- **非定形サイズの原稿サイズを登録したい。**
用紙サイズに登録されていない原稿サイズを「カスタム用紙サイズ」として登録することができます。
→P.46「ISISドライバ設定⑫」、P.48「TWAINドライバ設定⑫」
- **原稿の一部をスキャンしたい。**
スキャン領域を指定してスキャンします。但し、読み取りサイズの設定が「自動検知」のときは領域を指定することはできません。
→P.46「ISISドライバ設定⑬」、P.48「TWAINドライバ設定⑬」

複数原稿の読み取り

- **1度にセットできない原稿の束を複数の束に分けて連続スキャンしたい。**
給紙オプションの設定を「自動」に設定します。原稿のセットをスキャナが検知すると自動でスキャンが開始されるため、原稿を繰り返しセットするだけで連続してスキャンを行なうことができます。

給紙オプションの設定を「パネル」に設定した場合は、原稿をセットしたあとに、スキャンボタンを押さないとスキャンが開始されません。原稿をセットしたあとに原稿を揃えるときになど有効です。
→P.46「ISISドライバ設定⑧」、P.48「TWAINドライバ設定⑧」

- **連続スキャンで原稿の束ごとにファイルを分けたい。**

給紙オプションの設定を「自動」または「パネルで給紙」に設定し、バッチ区切りを「自動」にします。(ISIS ドライバのみ)

→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑧, ⑨」

- **原稿の束を 1 枚ずつスキャンしたい。**

給紙オプションの設定を「自動」または「パネルで給紙」に設定して 1 枚ずつスキャンします。原稿を 1 枚スキャンするとパネル表示が「待機中」になります。給紙オプションの設定が「自動」のときは次の原稿をセットし、スキャナが原稿を検知すると次のスキャンを行いません。給紙オプションの設定が「パネルで給紙」のときは次の原稿をセットしてスキャンボタンを押すと次のスキャンを行いません。

→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑧」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑧」

白紙原稿の読み取り

- **原稿の束に含まれている白紙ページの原稿をスキップしてスキャンしたい。**

読み取り面の設定を「白紙をスキップする」に設定します。両面スキャンを行ない、白紙ページをスキップします。

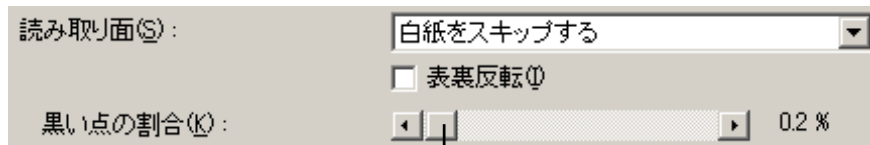
→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑦」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑦」

- **白紙スキップにしても白紙がスキップされない。**

「黒い点の割合」の設定値を高く（スライダを右方向に）調整します。「黒い点の割合」の設定値が低いと、原稿の地色やゴミなどにより白紙がスキップされない場合があります。

- **文字のある原稿が白紙としてスキップされる。**

「黒い点の割合」の設定値を低く（スライダを左方向に）調整します。「黒い点の割合」の設定値が高いと、文字のある原稿でも白紙としてスキップされる場合があります。



白紙がスキップされない場合、スライダを右に調整
文字原稿がスキップされる場合は、スライダを左に調整

スキャンしたときの色の調整

- **地色の濃い原稿の文字を強調させたい。**
読み取りモードの設定を「テキストエンハンス」に設定します。原稿の地色が除去され、文字が強調されます。
→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ②」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ②」
- **背景や文字が薄い原稿の文字を強調させたい。**
読み取りモードの設定を「アドバンスドテキストエンハンスメントⅡ」に設定します。原稿の背景は除去または処理されて、文字が強調されます。
→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ②」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ②」
- **雑誌やカタログなどの写真をスキャンしたときに発生するモアレを抑えたい。**
解像度400dpi以下、[256階調スムージンググレー] または、[24ビットスムージングカラー] でスキャンします。画像を平均化し、モアレの発生を抑えます。
→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ②」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ②」
- **特定の色を読み飛ばしたい。**
ドロップアウトカラーの設定で読み飛ばす色を指定します。
→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑮」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑮」
- **印鑑の印影を強調したい。**
ドロップアウトカラーの設定で「赤強調」を選択します。
→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑮」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑮」
- **画像の輪郭をはっきりさせたい。**
「エッジ強調」の設定を調整します。
→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑰」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑰」
- **画像の周りにできる黒い部分を削除したい。**
「黒枠消し」チェックボックスをチェックします。
→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑱」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑱」
- **白黒反転させてスキャンしたい。**
「白黒反転」チェックボックスをチェックします。(TWAIN ドライバのみ)
→ P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑲」

プレスキャン

- **スキャンする前に画像を確認したい。**

ISISドライバの場合、「プレスキャン」チェックボックスをチェックします。スキャン開始時にプレスキャンウィンドウが表示されます。

→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑩」

TWAINドライバの場合、「プレスキャン」チェックボックスをチェックして、「プレビュー」ボタンをクリックします。原稿を1枚スキャンしてプレスキャンウィンドウが表示されます。

→ P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑩, ⑭」

設定の登録

- **設定したスキャン条件を次回も使用したい。**

ユーザー設定に名前を付けて登録します。登録したユーザー設定の名前を選択すると、設定条件がダイアログボックスに反映されます。

→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ①」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ①」

ジョブ機能やCaptuerPerfectのジョブスキャンでは、スキャン条件やスキャンした画像ファイルの処理方法をジョブとして登録でき、登録したジョブを選択してスキャンを実行することができます。

7. ソフトウェアの設定項目

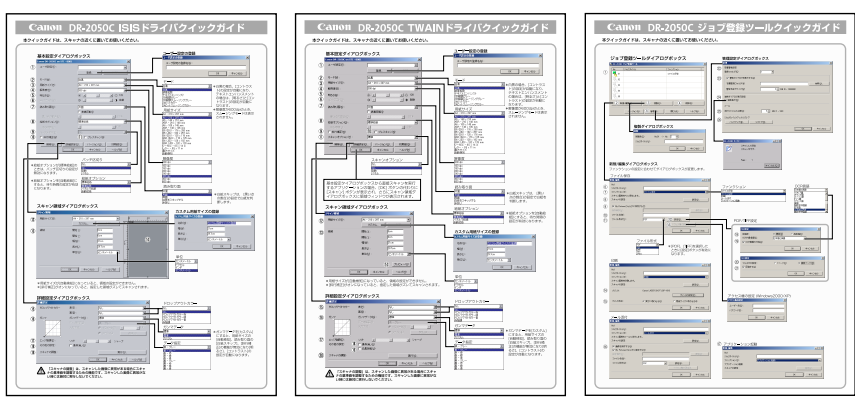
本項は、ISIS ドライバ、TWAIN ドライバおよび、ジョブ登録ツールを設定する際の設定項目について簡単に説明しています。詳細の説明についてはそれぞれのヘルプと合わせてお読みください。

ISIS ドライバの設定項目 P.46
 TWAIN ドライバの設定項目 P.48
 ジョブ登録ツールの設定項目 P.50



メモ

セットアップディスクに納められている本ユーザーズガイドのPDF ファイルには、本項の説明をスキャナの近くに置いてお使いになりたい方のために、本項と同じ内容で「クイックガイド」として添付されています。プリンタで印刷し、スキャナの近くに置いてお使いください。



ISIS ドライバの設定項目

基本設定ダイアログボックス



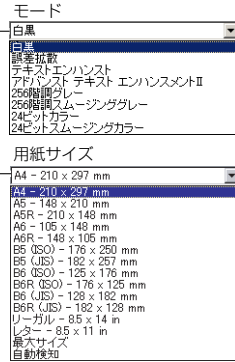
- ① ユーザ設定 (U)
- ② モード (M)
- ③ 用紙サイズ (S)
- ④ 解像度 (R)
- ⑤ 明るさ (B)
- ⑥ コントラスト (C)
- ⑦ 読み取り面 (F)
- ⑧ 給紙オプション (O)
- ⑨ バッチ区切り (D)
- ⑩ 斜行補正 (K)

* 給紙オプションが[標準給紙]のときは、バッチ区切りの設定が無効になります。

* 給紙オプションを[自動給紙]にすると、待ち時間の設定が有効になります。



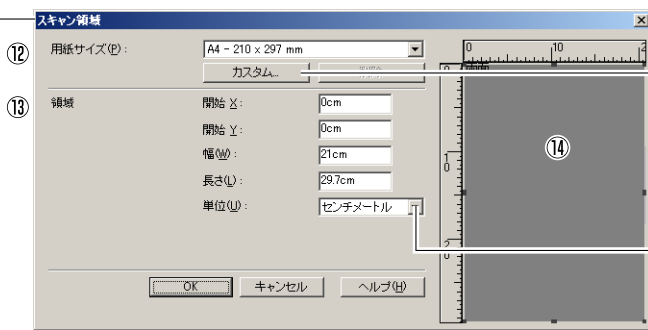
ユーザ設定の登録



* 白黒の場合、[コントラスト]の設定が自動になり、テキストエンハンスメントのときは、[明るさ]と[コントラスト]の設定が自動になります。

* 解像度が600dpiのとき、スミージングモードは表示されません。

スキャン領域ダイアログボックス

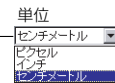


- ⑫ 用紙サイズ (S)
- ⑬ 領域 (A)

* 用紙サイズが[自動検知]になっていると、領域の設定ができません。

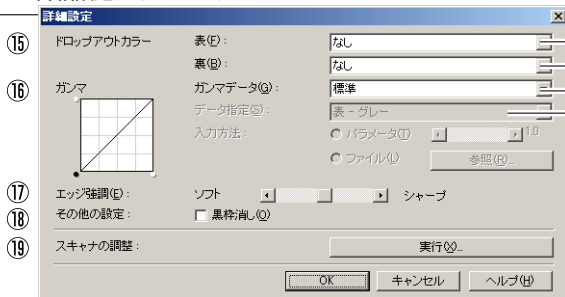
* [斜行補正]がオンになっていると、指定した領域がズレてスキャンされます。

カスタム用紙サイズの登録

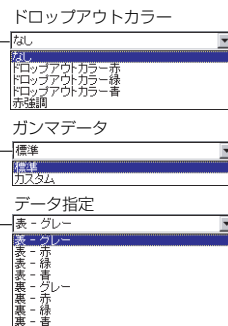


* 白紙スキップは、[黒い点の割合]の設定で白紙を判断します。

詳細設定ダイアログボックス



- ⑮ ドロップアウトカラー (C)
- ⑯ ガンマ (G)
- ⑰ エッジ検出 (E)
- ⑱ その他の設定 (O)



* ガンマデータを[カスタム]にすると、用紙サイズの[自動検知]、読み取り面の[白紙スキップ]、[斜行補正]の機能が無効になり[明るさ]、[コントラスト]の設定が自動になります。

⚠ 「スキヤナの調整」は、スキヤンした画像に異常がある場合にスキヤナの基準値を調整するための機能です。スキヤンした画像に異常がない時は絶対に実行しないでください。

基本設定ダイアログボックス

- ① ユーザー設定
設定した内容に名称を付けて登録します。
☑️ 入力は、半角で32文字、全角で16文字以下。
- ② モード
スキャンするモードを選択します。
☑️ [テキストエンハンスド]、[アドバンスドテキストエンハンスメントⅡ]は原稿の下地や背景を処理し、文字を強調させて読みやすくします。
☑️ スムージングモードは解像度が400dpi以下のときに表示され、画像を平均化してモアレの発生を抑えます。
- ③ 用紙サイズ
スキャンする原稿のサイズを選択します。
☑️ [自動検知]を選択すると、原稿のサイズを検知してスキャンを行ないます。
- ④ 解像度
スキャンする解像度を選択します。
- ⑤ 明るさ
明るさを調整します。
☑️ モードの設定で [テキストエンハンスメント] を選択している場合、明るさは自動になります。
- ⑥ コントラスト
コントラストを調整します。
☑️ モードの設定で [白黒]、[テキストエンハンスメント] を選択している場合、コントラスト]は自動になります。
- ⑦ 読み取り面
原稿をスキャンする面を選択します。
☑️ [白紙をスキップする] を選択すると、[黒い点の割合] によって白紙と判断された画像をスキップします。
☑️ [半折り] は、原稿の両面をスキャンし、表裏の画像を1枚の画像に合成します。詳細についてはP.25「半折り原稿のセット」を参照してください。
☑️ [表裏反転] をチェックすると、原稿の表裏が逆になります。
☑️ [黒い点の割合] は、白紙をスキップするときの黒い部分の割合 (0~20%) を指定します。
- ⑧ 給紙オプション
原稿の給紙方法を選択します。
☑️ [標準給紙] は、原稿をセットした後のスキャン操作をすべてアプリケーションで行ないます。
☑️ [パネルで給紙] は、原稿をセットした後、スキャナ本体のスキャンボタンでスキャンを開始します。
☑️ [自動給紙] は、スキャナが原稿のセットを感知するとスキャンが開始されます。

- ⑨ バッチ区切り
給紙オプションで [パネルで給紙]、[自動給紙] が選択されているときに有効になり、原稿の束毎にバッチを区切ることができます。
☑️ [自動] は、[パネルで給紙]、[自動給紙] でスキャンが開始されるタイミングでバッチ区切りが行なわれます。
☑️ [パネル] は、スキャンパネルの [バッチ区切り] ボタンでバッチ区切りを行ないます。
- ⑩ 斜行補正
原稿が斜めに給紙されたとき、スキャンした画像をまっすぐに補正します。
- ⑪ プレスキャン
スキャン開始時に原稿を1枚スキャンし、プレスキャンウィンドウに画像を表示します。

スキャン領域ダイアログボックス

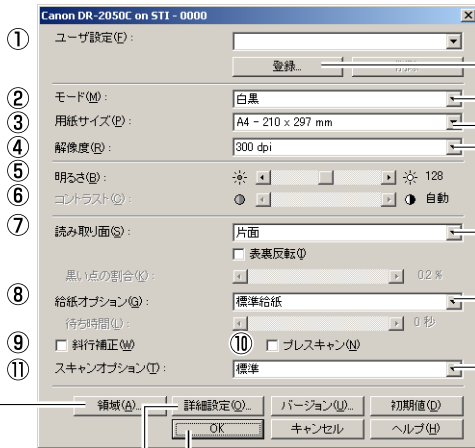
- ⑫ 用紙サイズ
スキャンする原稿のサイズを選択します。
☑️ [カスタム] ボタンを押すと、非定型サイズの原稿をカスタム用紙サイズとして登録することができます。
- ⑬ 領域
スキャンする領域を選択します。
☑️ 用紙サイズが [自動検知] の場合は無効になります。
- ⑭ 領域ウィンドウ
用紙サイズの設定に合わせて表示が変化します。
☑️ マウスでドラッグして読み取り領域を指定することもできます。

詳細設定ダイアログボックス

- ⑮ ドロップアウトカラー
読み取りモードが [24ビットカラー] 以外のときに有効で、赤/緑/青色の読み飛ばし (ドロップアウト) または、赤色の強調を表裏別に設定します。
- ⑯ ガンマ
標準のガンマカーブを変更するときに、ガンマデータを [カスタム] にしてガンマカーブを変更します。
- ⑰ エッジ強調
画像の輪郭を強調します。
- ⑱ 黒枠消し
スキャンした画像の周りにできる黒い部分を消去します。
- ⑲ スキャナの調整
スキャナの調整は、スキャンした画像に異常があり、通常のメンテナンスでは画像が改善されないときにスキャナの基準値を調整するための機能です。スキャナの調整については、P.71「スキャン結果がおかしい」を参照してください。

TWAIN ドライバの設定項目

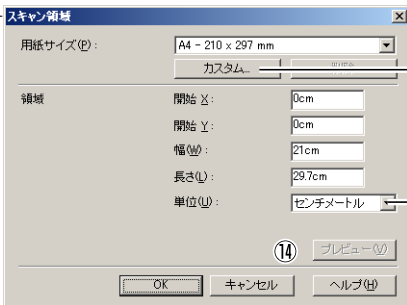
基本設定ダイアログボックス



- ① ユーザ設定 (F):
- ② モード (M):
- ③ 用紙サイズ (P):
- ④ 解像度 (R):
- ⑤ 明るさ (B):
- ⑥ コントラスト (C):
- ⑦ 読み取り面 (S):
- ⑧ 黒い点の割合 (D):
- ⑨ 給紙オプション (O):
- ⑩ 斜行補正 (K)
- ⑪ スキャンオプション (I):

基本設定ダイアログボックスから直接スキャンを実行するアプリケーションの場合、[OK] ボタンの代わりに [スキャン] ボタンが表示され、さらにスキャン領域ダイアログボックスに領域ウィンドウが表示されます。

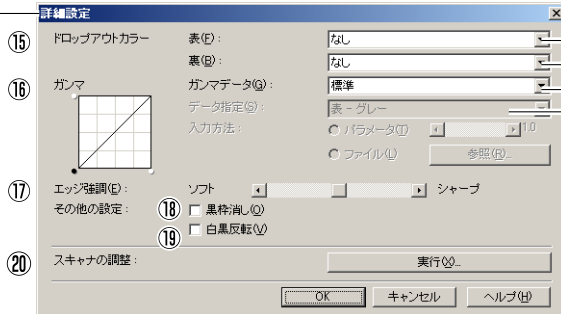
スキャン領域ダイアログボックス



- ⑫ 用紙サイズ (P):
- ⑬ 領域
- ⑭ プレビュー (V)

* 用紙サイズが [自動検知] になっていると、領域の設定ができません。
* [斜行補正] がオンになっていると、指定した領域がズレてスキャンされます。

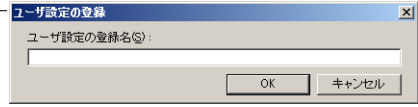
詳細設定ダイアログボックス



- ⑮ ドロップアウトカラー
- ⑯ ガンマ
- ⑰ エッジ補正 (E):
- ⑱ その他の設定
- ⑳ スキャナの調整

⚠ 「スキャナの調整」は、スキャンした画像に異常がある場合にスキャナの基準値を調整するための機能です。スキャンした画像に異常がない時には絶対に実行しないでください。

ユーザ設定の登録

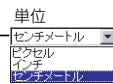


* 白黒の場合、[コントラスト] の設定が自動になり、テキストエンハンスメントのときは、[明るさ] と [コントラスト] の設定が自動になります。
* 解像度が 600dpi のとき、スムージングモードは表示されません。

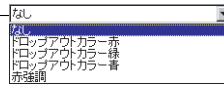
* 白紙スキップは、[黒い点の割合] の設定で白紙を判断します。

* 給紙オプションを [自動給紙] にすると、待ち時間の設定が有効になります。

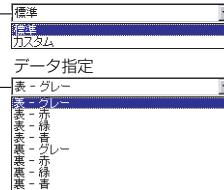
カスタム用紙サイズの登録



ドロップアウトカラー



ガンマデータ



* ガンマデータを [カスタム] にすると、用紙サイズの [自動検知]、読み取り面の [白紙スキップ]、[斜行補正] の機能が無効になり [明るさ]、[コントラスト] の設定が自動になります。

基本設定ダイアログボックス

- ① **ユーザー設定**
設定した内容に名称を付けて登録します。
- ② **モード**
スキャンするモードを選択します。
 [テキストエンハンスメント]、[アドバンスドテキストエンハンスメントⅡ] は原稿の下地や背景を処理し、文字を強調させて読みやすくします。
 [スムージンググレー / カラー] は解像度が400dpi以下のときに表示され、画像を平均化してモアレの発生を抑えます。
- ③ **用紙サイズ**
スキャンする原稿のサイズを選択します。
 [自動検知] を選択すると、原稿のサイズを検知してスキャンを行いません。
- ④ **解像度**
スキャンする解像度を選択します。
- ⑤ **明るさ**
明るさを調整します。
モードの設定で [テキストエンハンスメント] を選択している場合、明るさは自動になります。
- ⑥ **コントラスト**
コントラストを調整します。
モードの設定で [白黒]、[テキストエンハンスメント] を選択している場合、コントラストは自動になります。
- ⑦ **読み取り面**
原稿をスキャンする面を選択します。
 [白紙をスキップする] を選択すると、[黒い点の割合] によって白紙と判断された画像をスキップします。
 [半折り] は、原稿の両面をスキャンし、表裏の画像を1枚の画像に合成します。詳細についてはP.25「半折り原稿のセット」を参照してください。
 [表裏反転] をチェックすると、原稿の表裏が逆になります。
 [黒い点の割合] は、白紙をスキップするときの黒い部分の割合 (0～20%) を指定します。
- ⑧ **給紙オプション**
原稿の給紙方法を選択します。
 [標準給紙] は、原稿をセットした後のスキャン操作をすべてアプリケーションで行いません。
 [パネルで給紙] は、原稿をセットした後、スキャナ本体のスキャンボタンでスキャンを開始します。
 [自動給紙] は、スキャナが原稿のセットを感知するとスキャンが開始されます。
- ⑨ **斜行補正**
原稿が斜めに給紙されたとき、スキャンした画像をまっすぐに補正します。

- ⑩ **プレスキャン**
スキャン開始時に原稿を1枚スキャンし、プレスキャンウィンドウに画像を表示します。
- ⑪ **スキャンオプション**
スキャン時の動作を指定します。
 [標準] は、読み取った原稿を排紙してから次の原稿をスキャンします。
 [先き読みスキャン] は、原稿を連続してスキャンします。
 [1 ページスキャン] は、読み取り面の設定が [片面] に固定され、原稿を1枚だけスキャンします。

スキャン領域ダイアログボックス

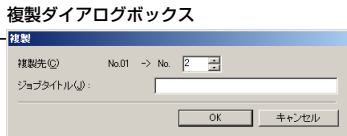
- ⑫ **用紙サイズ**
スキャンする原稿のサイズを選択します。
 [カスタム] ボタンを押すと、非定型サイズの原稿をカスタム用紙サイズとして登録することができます。
- ⑬ **領域**
スキャンする領域を選択します。
 用紙サイズが [自動検知] の場合は無効になります。
- ⑭ **プレビューボタン**
領域ウィンドウが表示されているときに有効になり、原稿を1枚スキャンして領域ウィンドウにプレビュー画像を表示します。
 ジョブ登録ツールではこのボタンは使用できません。

詳細設定ダイアログボックス

- ⑮ **ドロップアウトカラー**
読み取りモードが [24ビットカラー] 以外の場合に有効で、赤 / 緑 / 青色の読み飛ばし (ドロップアウト) または、赤色の強調を表裏別に設定します。
- ⑯ **ガンマ**
標準のガンマカーブを変更するときに、ガンマデータを [カスタム] にしてガンマカーブを変更します。
- ⑰ **エッジ強調**
画像の輪郭を強調します。
- ⑱ **黒枠消し**
スキャンした画像の周りにできる黒い部分を消去します。
- ⑲ **白黒反転**
モードの設定が [白黒]、[誤差拡散]、[テキストエンハンスメント] のときに原稿を白黒反転させてスキャンします。
- ⑳ **スキャナの調整**
スキャナの調整は、スキャンした画像に異常があり、通常のメンテナンスでは画像が改善されないときにスキャナの基準値を調整するための機能です。スキャナの調整については、P.71「スキャン結果がおかしい」を参照してください。

ジョブ登録ツールの設定項目

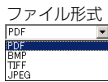
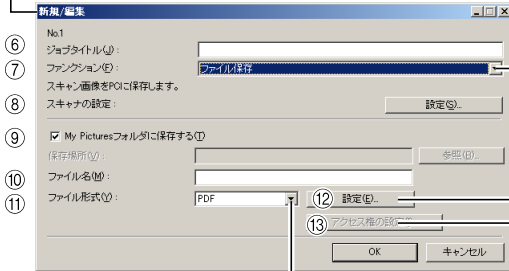
ジョブ登録ツールダイアログボックス



新規/編集ダイアログボックス

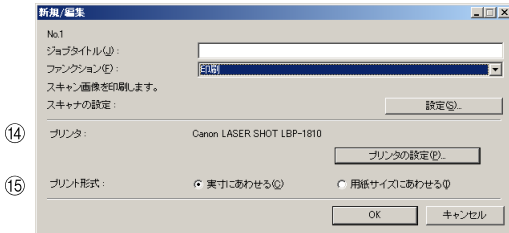
ファンクションの設定に合わせてダイアログボックスが変更します。

ファイル保存

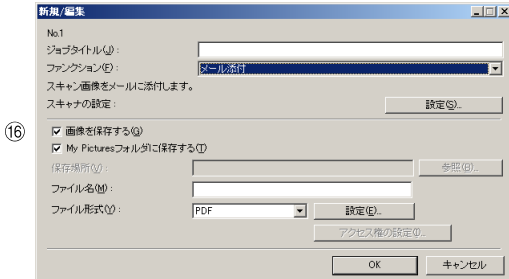


* [PDF]、[TIFF]を選択したときに[設定]ボタンが有効になります。

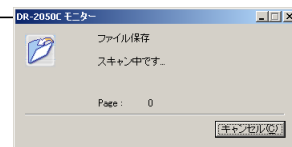
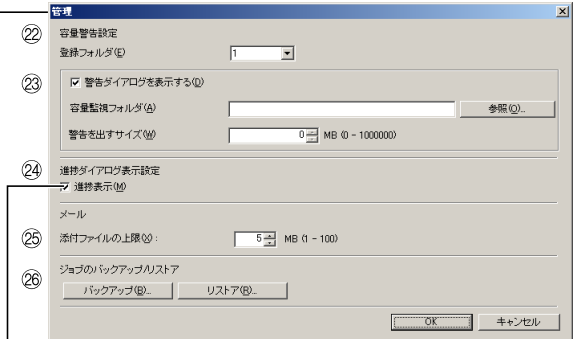
印刷



メール添付



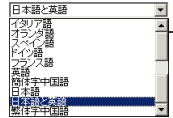
管理設定ダイアログボックス



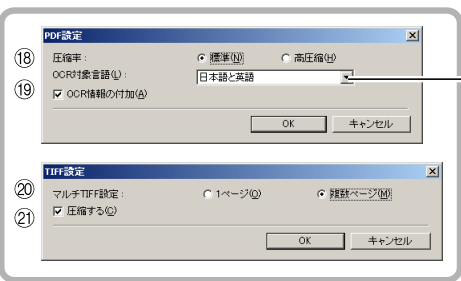
ファンクション



OCR言語



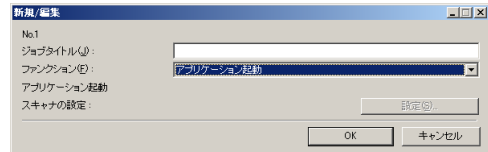
PDF/TIFF設定




アクセス権の設定 (Windows2000/XP)



アプリケーション起動



ジョブ登録ツールダイアログボックス

- ① **ジョブ一覧**
登録されているジョブを表示します。
☞色の付いているアイコン () のジョブがスキャンボタンを押したときに実行されます。
- ② **【新規 / 編集】 ボタン**
新規 / 編集ダイアログボックスを開きます。
- ③ **【複写】 ボタン**
登録されているジョブを別の番号にコピーします。
- ④ **【削除】 ボタン**
登録されているジョブを削除します。
- ⑤ **【管理】 ボタン**
管理ダイアログボックスを開きます。

新規 / 編集ダイアログボックス

- ⑥ **ジョブタイトル**
表示パネルに表示させるジョブのタイトルを入力します。
- ⑦ **ファンクション**
スキャンボタンに割り当てる機能を選択します。
☞新規 / 編集ダイアログボックスは、[ファンクション] の選択によってダイアログボックスが変更します。
- ⑧ **スキャナの設定**
TWAINドライバ設定ダイアログボックスを開きスキャン条件を設定します。
- ⑨ **My Pictures フォルダに保存する**
スキャンした画像ファイルをマイドキュメントの中にある My Pictures フォルダに保存します。
☞このチェックボックスをオフにすると保存場所を指定できます。
- ⑩ **ファイル名**
ファイル名を指定します。
☞保存されるファイル名は、指定したファイル名にタイムスタンプが付加されて保存されます。
- ⑪ **ファイル形式**
保存するファイル形式を選択します。
☞PDF/TIFF を選択した場合、[設定] ボタンが有効になります。
- ⑫ **【設定】 ボタン**
ファイル形式で PDF/TIFF を選択したときに有効になり PDF/TIFF 設定ダイアログボックスを開きます。
☞PDF 設定ダイアログボックス では、[圧縮] の設定と [OCR] の設定を行ないます。
☞TIFF 設定ダイアログボックス では、[マルチ TIFF 設定] と [圧縮] の設定を行ないます。
- ⑬ **【アクセス権の設定】 ボタン**
Windows2000/XPのときに表示され、アクセス権の設定ダイアログボックスを開きます。

- ☞ネットワーク上の共有フォルダにアクセス権が無い場合に、アクセスするためのユーザー名とパスワードを入力します。
- ⑭ **プリンタ**
「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタが表示され、[プリンタの設定] ボタンでプリンタの設定を変更します。
 - ⑮ **プリント形式**
印刷するサイズを指定します。
☞[実寸にあわせる] は、原稿と同じサイズで印刷します。
☞[用紙にあわせる] は、スキャンした画像が印刷する用紙より大きいときには、印刷する用紙のサイズに合わせて印刷します。スキャンした画像が印刷する用紙より小さいときは、原稿と同じサイズで印刷します。
 - ⑯ **画像を保存する**
「メール添付」で、スキャンした画像を保存する場合にチェックします。
 - ⑰ **アプリケーション起動**
Windowsのイベント機能で設定されているアプリケーションを起動します。詳細についてはユーザーズガイドを参照してください。

PDF/TIFF 設定

- ⑱ **圧縮率**
圧縮率 (標準、高圧縮) を選択します。
☞高圧縮を選択した場合、ファイルサイズが小さくなりますが、画質が若干低下します。
☞この設定は、グレースケール、カラー画像に対して有効です。
- ⑲ **OCR 情報の付加 / OCR 対象言語**
原稿内の活字に対して文字認識を行ない、PDF ファイルにテキストデータを付加します。
☞[OCR 情報を付加] をオンにして保存された PDF ファイルには、活字の部分に認識したテキストデータが保存されています。
- ⑳ **マルチ TIFF 設定**
複数ページある画像の保存方法について設定します。
☞[1 ページ] は、1 ページ / 1 ファイルで、画像の枚数だけの TIFF ファイルが作られます。
☞[複数ページ] は、全ページの画像を 1 ファイルに保存します。
- ㉑ **圧縮する**
画像ファイルを圧縮して保存します。
☞白黒画像の場合、「CCITT グループ 4」、グレースケール、カラー画像の場合は、「JPEG」で圧縮されます。

管理ダイアログボックス

②② 容量警告設定

画像ファイルを保存するフォルダを指定し、そのフォルダに保存できる容量をあらかじめ設定しておきます。

☞ 設定したフォルダを指定してスキャンを開始し、スキャン中に設定した容量を越えた場合に警告メッセージを表示します。

②③ 登録フォルダ / 警告ダイアログを表示する

登録フォルダの番号を選択し、「警告ダイアログボックスを表示する」をチェックすると [容量監視フォルダ] と [警告を出すサイズ] が有効になります。

☞ 容量警告が表示された時はメッセージに従ってスキャンを行なってください。

②④ 進捗表示

スキャンを開始した時に、「DR-2050C モニター」を表示させて、進捗状況を表示します。

②⑤ 添付ファイルの上限

電子メールに添付する画像ファイルのサイズを制限します。

②⑥ ジョブのバックアップ / リストア

登録したジョブをバックアップ / リストア（復元）します。

☞ バックアップファイルは、他のDR-2050CII/SPに復元させて使用することができます。

第3章 付 録

1. 日常のお手入れ	54
本体の清掃	54
本体内部の清掃	54
読み取りガラスとローラの清掃	55
金属ローラの清掃	57
2. ローラの取り外し / 取り付け	58
ローラの交換時期	58
カウンタのリセット	59
フィードローラの取り外し / 取り付け	61
リタードローラの取り外し / 取り付け	64
3. 困ったときは	67
4. ソフトウェアのアンインストール	74
ISIS/TWAIN ドライバ / ジョブ登録ツール のアンインストール	76
CapturePerfect のアンインストール	77
5. 仕様	79
仕様	79
交換部品	80
外形寸法図	81
保証とアフターサービス	82
修理受付窓口	83
サービス&サポートのご案内	84
保守サービスのご案内	85
アドビシステムズ社製品について	86

1. 日常のお手入れ

読み取り品質を維持するために、以下のような日常の清掃を行ってください。

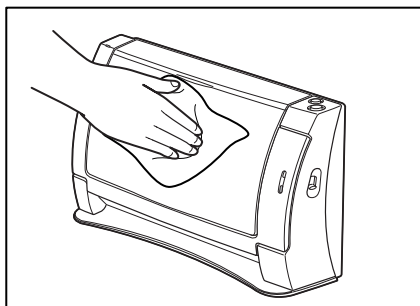


注意

- 本体および内部の清掃を行なうときは、安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてから清掃を行ってください。
- 金属ローラを清掃する場合は電源をオンにしておく必要がありますので、金属ローラの清掃を行う際は十分に注意してください。
- 清掃の際、スプレー容器は使用しないでください。光源などの精密機器が濡れて破損する恐れがあります。
- シンナーやアルコールなどの有機溶剤はけっして使用しないでください。外装が変形、変色したり溶解する恐れがあります。また、火災や感電の原因になることもあります。

本体の清掃

本体表面は、水を染み込ませ固くしぼった布で汚れを落としたあと、きれいな乾いた布で拭きます。



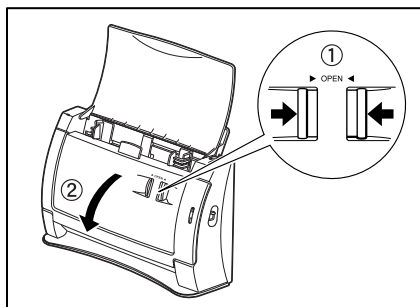
本体内部の清掃

本体内部にほこりや紙粉がたまると、スキャンした画像にすじが入る原因になります。本体内部にたまったほこりや紙粉はブロアなどを使って定期的に取り除いてください。また、大量の原稿をスキャンしたときなどは、スキャナの電源を切った後に紙粉の除去を行なってください。

読み取りガラスとローラの清掃

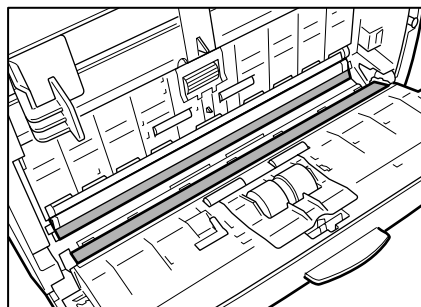
スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れていたりする場合には、本体内部にある読み取りガラスやローラが汚れている可能性があります。定期的に清掃してください。

- 1 給紙トレイを開きます。
- 2 OPENつまみを両側から押しながら (①)、前ユニットを手前に開きます (②)。



- 3 ブロアなどを使って、本体内部にたまったほこりや紙粉を取り除きます。

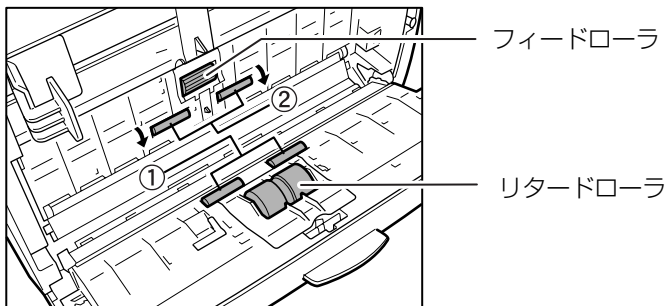
- 4 きれいな乾いた布で読み取りガラスの汚れを拭き取ります。
読み取りガラスは表面用と裏面用に二つあります、両方ともきれいに拭いてください。



- !** 注意
水や中性洗剤を直接スプレーしないでください。光源などの精密機器が破損する恐れがあります。

- ☞** お願い
読み取りガラスにキズがあるとスキャンした画像にすじが入ったり、搬送エラーの原因になります。読み取りガラスにキズがあるようなときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

- 5 ▶ ローラ ①、②を回転させながら清掃します。ローラは、水で湿らせた布で拭いて汚れを取り除いたあと、きれいな乾いたやわらかい布で拭いてください。



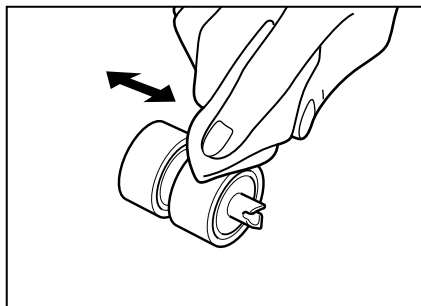
- 6 ▶ フィードローラ、リタードローラ を取り外します。(→ P.61、P.64)



お願い

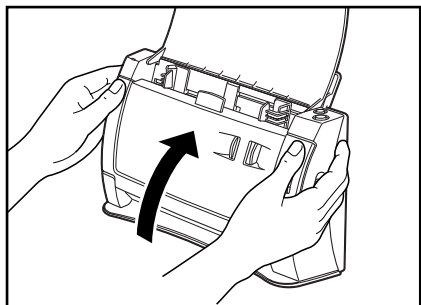
フィードローラとリタードローラは、本体から取り外して清掃し、清掃が終わったら本体に戻してください。

- 7 ▶ 水を含ませて固くしぼった布で、取り外したローラの汚れを拭きとります。



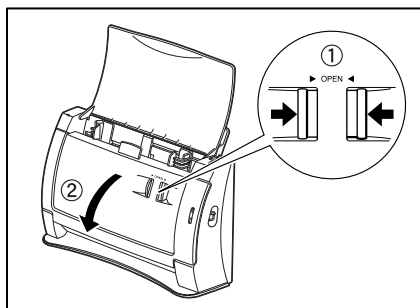
- 8 ▶ 取り外したローラを取り付けます。(→ P.62、P.65)

- 9 ▶ 前ユニット上部の左右をゆっくり押します。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。

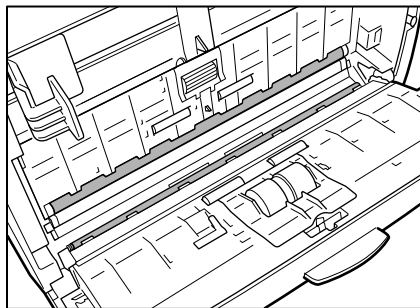


金属ローラの清掃

- 1 電源をオンにします。
- 2 給紙トレイを開きます。
- 3 OPENつまみを両側から押しながら (①)、前ユニットを手前に開きます (②)。



- 4 きれいな乾いた布で金属ローラ (図の■の部分) を拭きます。
金属ローラは、スキャンボタンとストップボタンを同時に押しと少しずつ回転します。



注意

- 金属ローラは前ユニットと本体側に1つずつありますので、両方ともきれいに拭いてください。ただし、水や中性洗剤を直接スプレーしないでください。光源などの精密機器が破損する恐れがあります。また、本機や手が濡れていると感電の恐れがあります。
- 金属ローラの清掃中は本機の電源がオンになっていますので、十分に注意してください。

2. ローラの取り外し / 取り付け

フィードローラ、リタードローラの清掃および交換の際は、それぞれの手順にしたがってローラの取り外し、取り付けを行ってください。



お願い

搬送ローラは消耗品です。ローラが磨耗してくると紙詰まりや原稿が正しく給紙されないなどの不具合が起きやすくなります。このようなときは、交換用ローラキットをお買い求めの上、フィードローラ、リタードローラの交換を行ってください。

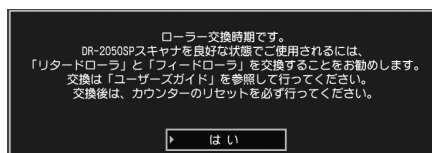
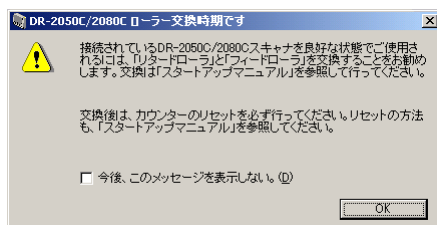


注意

ローラの取り外し、取り付けを行うときはには、無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

ローラの交換時期

搬送枚数が3万枚を超えた場合、コンピュータを再起動したときにローラ交換のメッセージが表示されます。DR-2050SPをプレゼンテーションモードで使用しているときは、スキャナの電源をオンにし、オープニング画面が終了した後ローラ交換のメッセージが表示されます。交換ローラキットをお買い求めになり、フィードローラ、リタードローラの交換を行ってください。



DR-2050SP プレゼンテーションモード使用時



お願い

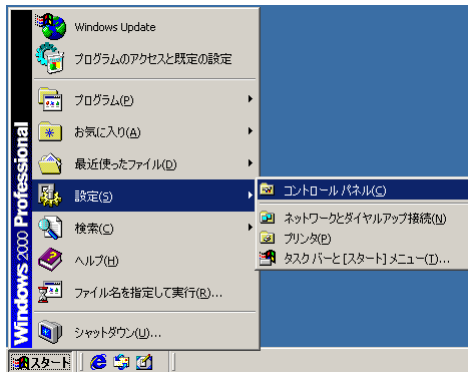
- メッセージが表示される前でも、搬送の不具合が起きやすくなってきたらローラの磨耗を確認の上、ローラを交換してください。
- ローラを交換後、カウンタは必ずリセットしてください。(→ P.59 「カウンタのリセット」)
- 交換ローラキット (フィードローラ、リタードローラ) についてはお買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

カウンタのリセット

搬送ローラを交換後、「カウンタ」の設定ダイアログボックスを開き、カウンタをリセットしてください。

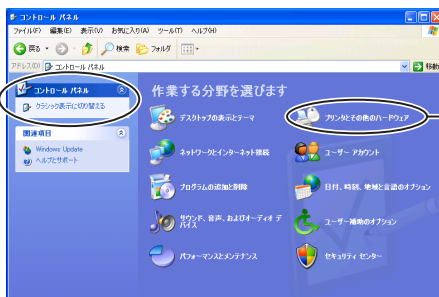
1 「カウンタ」の設定ダイアログボックスを以下の手順で開きます。

1. [スタート]ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル]をクリックしてコントロールパネルを開きます。(WindowsXP の場合、[スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックします。

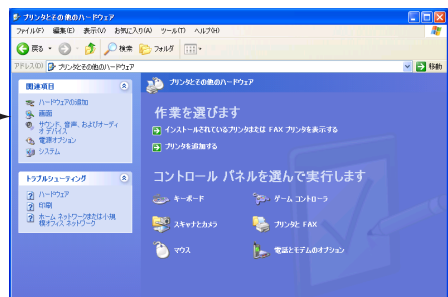


2. WindowsXP の場合、コントロールパネルをクラシック表示に切り替えます。または、作業する分野で「プリンタをその他のハードウェア」を選択してください。

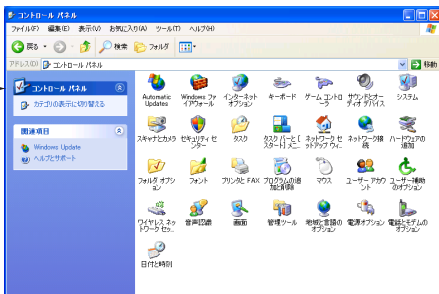
コントロールパネル (カテゴリ表示)



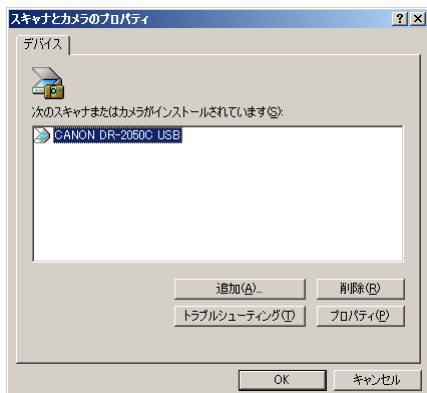
プリンタとその他のハードウェア



コントロールパネル (クラシック表示)



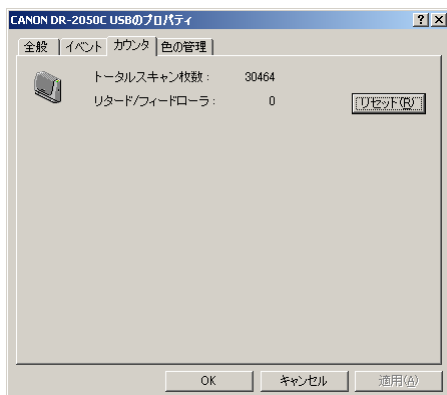
4. [CANON DR-2050C USB] を選択し、[プロパティ] をクリックします。



5. [カウンタ] タブをクリックします。



- 2 ▶ [リセット] ボタンを押し、「リタード/フィードローラ」のカウンタが0にリセットされたことを確認します。



フィードローラの取り外し / 取り付け

フィードローラの清掃および交換の際は、以降の手順にしたがってローラの取り外し、取り付けを行ってください。

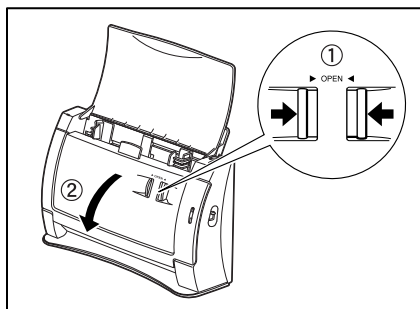


注意

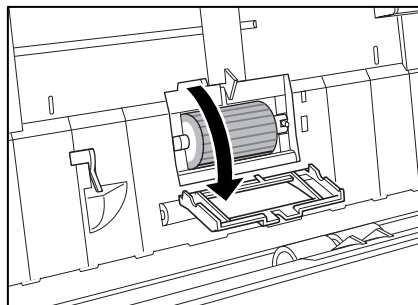
フィードローラの取り外し、取り付けを行うときには、無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

フィードローラの取り外し

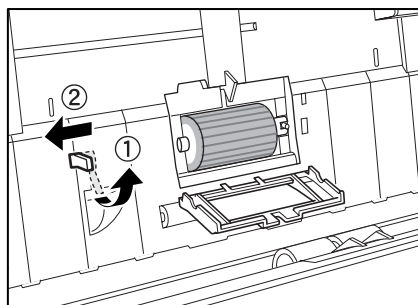
- 1 OPENつまみを両側から押しながら (①)、前ユニットを手前に開きます (②)。



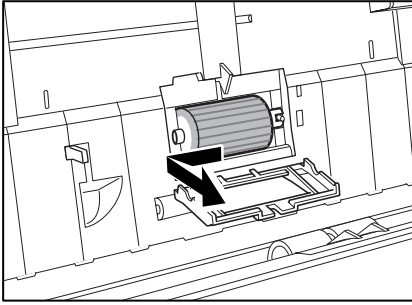
- 2 本体側にあるローラカバーを開きます。カバーは、くぼみに指をかけて開きます。



- 3 ローラ固定レバーを起こし (①)、左方向へスライドさせます (②)。

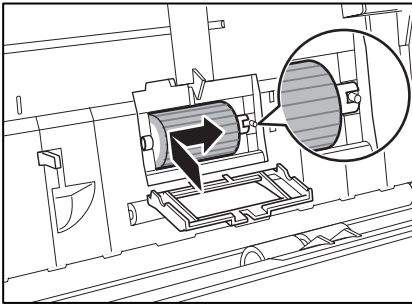


- 4** ▶ フィードローラを左に寄せて軸から離し、取り出します。

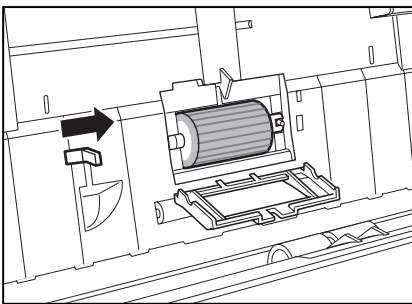


フィードローラの取り付け

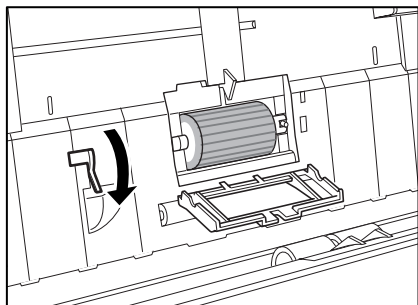
- 1** ▶ ローラカバー内部のくぼみに送りローラをセットし、ローラの切り欠き部を本体側の軸に合わせます。



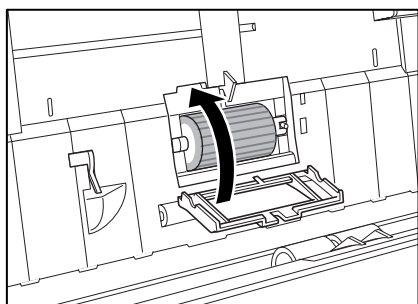
- 2** ▶ ローラ固定レバーを右にスライドさせ、フィードローラの左側の穴に、はめ込みます。



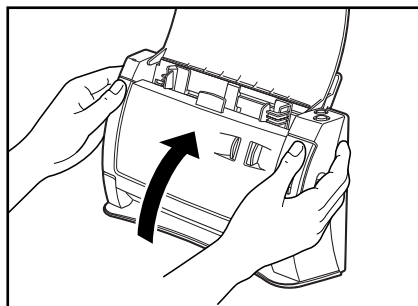
- 3 ▶ レバーを倒してフィードローラの軸を固定します。



- 4 ▶ ローラカバーを閉めます。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



- 5 ▶ 前ユニット上部の左右をゆっくり押します。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



リタードローラの取り外し / 取り付け

リタードローラの清掃および交換の際は、以降の手順にしたがってローラの取り外し、取り付けを行ってください。

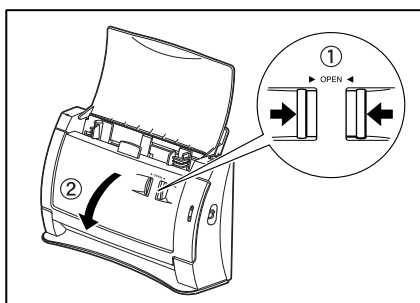


注意

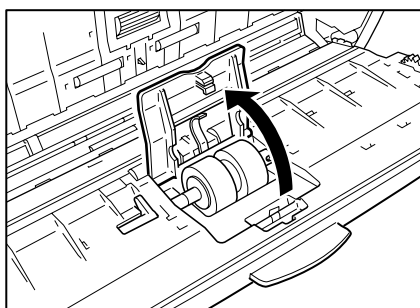
リタードローラの取り外し、取り付けを行うときには、無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

リタードローラの取り外し

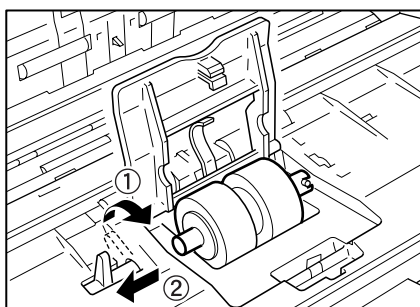
- 1 OPENつまみを両側から押しながら (①)、前ユニットを手前に開きます (②)。



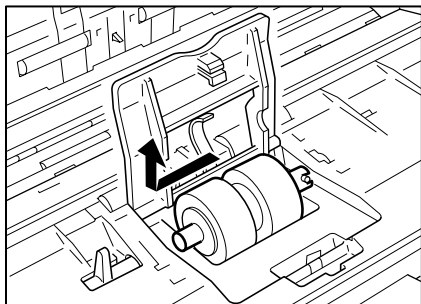
- 2 前ユニット内側にあるローラカバーの端を持って開きます。



- 3 ローラ固定レバーを起こし (①)、スライドさせます (②)。

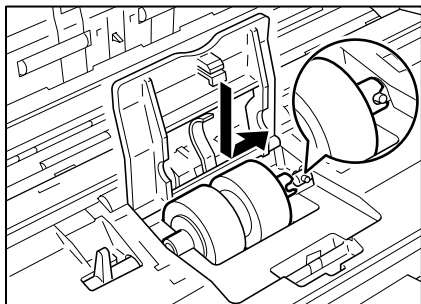


- 4 ▶ リタードローラを左に寄せて軸から離し、取り出します。

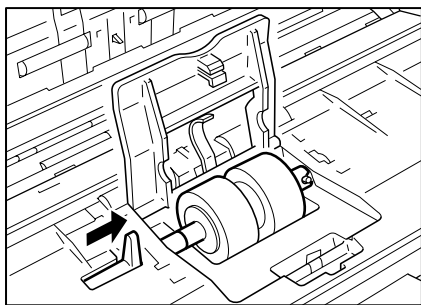


リタードローラの取り付け

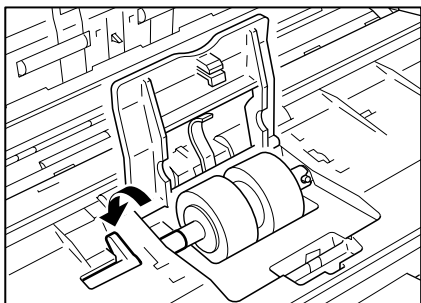
- 1 ▶ ローラカバー内部のくぼみにリタードローラをセットし、ローラの切り欠き部を前ユニットの軸に合わせます。



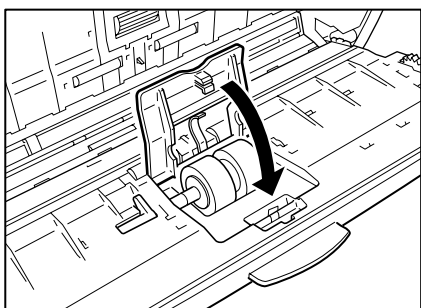
- 2 ▶ ローラ固定レバーを右にスライドさせ、リタードローラの左側の穴に、はめ込みます。



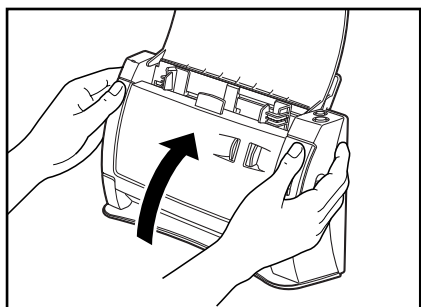
- 3** ▶ レバーを倒してリタードローラの軸を固定します。



- 4** ▶ ローラカバーを閉めます。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



- 5** ▶ 前ユニット上部の左右をゆっくり押します。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



3. 困ったときは

ここでは、スキャナ使用時に起こりうる問題とその対処方法を説明しています。遭遇したトラブルに該当する参照先をお読みください。

電源が入らない	P.67
スキャナが認識されない.....	P.67
スキャン速度が遅い	P.68
スキャンされない	P.69
正しく給紙されない	P.70
正しく排紙されない	P.70
保存した画像ファイルが開けない	P.71
スキャン結果がおかしい.....	P.71

問題が解決しないときは、お買い求めの販売店または 83 ページに記載されているサービス窓口にご相談ください。

× 電源が入らない

スキャナの電源が入らない時は、次のことを確認してください。

- 電源スイッチはオンになっていますか？
- 電源コードは確実に接続されていますか？
- 電源コードはコンセントに差し込まれていますか？

電源コードの接続については、簡単スタートガイド「Step 4. コンピュータとの接続」を参照してください。

× スキャナが認識されない

コンピュータがスキャナを認識しないときは、以下の原因が考えられます。それぞれの原因に応じた方法で対処してください。

原因	スキャナが正しく接続されていない。
対処方法	スキャナとコンピュータが、USB ケーブルで正しく接続されていることを確認してください。（→簡単スタートガイド「Step 4. コンピュータとの接続」）

原因	スキャナの電源がオフになっている。
対処方法	スキャナの電源がオンになっているか確認し、スキャナの電源が入っていないときは、スキャナの電源をオンにしてください。 (→簡単スタートガイド「Step 4. コンピュータとの接続」)
原因	USB インタフェースがスキャナに対応していない。
対処方法	本製品は、すべてのUSB インタフェースでの動作を保証していません。詳細については、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。(→P.14)
原因	USB ケーブルがスキャナに対応していない。
対処方法	同梱のUSB ケーブルをご使用ください。
原因	USB HUB がスキャナに対応していない。
対処方法	USB HUB を取り外してご使用ください。

× スキャン速度が遅い

スキャン速度が遅いときは、以下の原因が考えられます。それぞれの原因に応じた方法で対処してください。

原因	他のアプリケーションが起動している。
対処方法	起動中の他のアプリケーションを終了させてください。
原因	ウイルス対策アプリケーションなど常駐しているアプリケーションによりメモリが不足している。
対処方法	常駐しているアプリケーションを終了させてください。
原因	ハードディスクの空き容量が少ないため、TEMP フォルダに一時ファイルを作れない。
対処方法	ハードディスクのファイルを整理してハードディスクの空き容量を増やしてください。
原因	お使いのUSB ポートがHi-Speed USB2.0に対応していない。
対処方法	コンピュータに標準搭載されているUSB ポートがHi-Speed USB2.0に対応していない場合、スキャン速度が低下します。(→P.14) Hi-Speed USB2.0に対応したUSBを標準搭載しているコンピュータでお使いください。

原因 USB ケーブルが Hi-Speed USB2.0 に対応していない。

対処方法 同梱の USB ケーブルをご使用ください。

原因 USB HUB が Hi-Speed USB2.0 に対応していない。

対処方法 USB HUB を取り外してご使用ください。

× スキャンされない

読み取りの動作を行ってもスキャンされないときは、次のことを確認してください。

- スキャナがコンピュータに正しく認識されていますか？
- スキャナドライバはインストールしましたか？
- アプリケーションソフトウェアは正しくインストールされていますか？ また、アプリケーションソフトウェアでの設定は正しく行われていますか？
- コンピュータのシステムに異常はありませんか？



お願い

- 読み取りのための設定をしても正常に読み取りが行われない場合は、スキャナドライバまたはアプリケーションソフトウェアが正常に動作していない可能性があります。スキャナドライバまたはアプリケーションソフトウェアを再インストールしてください。
- システムエラーなどによりスキャナがまったく動作しなくなったときは、スキャナの電源をオフにし、10 秒以上待ってからスキャナの電源を入れてください。その後、エラーが続けて発生するようなときは、コンピュータを再起動してください。
- 読み取りを続けるときは、最後の原稿が正しく読み取られていることを確認してください。

× 正しく給紙されない

原稿が正しく給紙されないときは、以下の原因が考えられます。それぞれの原因に応じた方法で対処してください。

原因	静電気などが原因で原稿が密着し、スキャナで正常に分離できない。
対処方法	原稿をセットする前に、原稿の束をよくさばいてからスキャナにセットしてください。(→P.21「分離給紙の手順」)
原因	スキャナで読み取ることができないサイズ・紙厚・紙質の原稿を読み取ろうとした。
対処方法	原稿のサイズ・紙厚・紙質を確認してください。原稿についての注意事項は、P.18「原稿について」を参照してください。
原因	スキャナ本体内部のローラが汚れていたり摩耗している。
対処方法	P.55を参照してローラを清掃してください。なお、ローラが摩耗している場合は、ローラの交換が必要です。お買い求めの販売店または担当サービスに連絡し、交換ローラキットをお買い求めください。

詰まった原稿の取り除きかたについては、P.39「紙詰まりの処理」を参照してください。

× 正しく排紙されない

複数枚の原稿をセットした状態で1枚ずつ読み取りを行う場合、読み取った原稿の後端が排紙ローラに引っ掛かった状態で停止します。

原因	この現象は、次の原稿を待機状態で停止させるための仕様であり、紙詰まりではありません。
対処方法	排紙ローラに引っ掛かった原稿を手で引き抜いてから次の読み取りを行うか、そのままの状態で行ってください。

詰まった原稿の取り除きかたについては、P.39「紙詰まりの処理」を参照してください。

× 保存した画像ファイルが開かない

CapturePerfect で保存した画像ファイルが他のアプリケーションで開けない場合には、以下の原因が考えられます。状況を確認し、対応する処置をしてください。

現象	CapturePerfect で保存したマルチページ TIFF ファイルが他のアプリケーションで開けない。
原因	開こうとしたアプリケーションがマルチページ TIFF ファイルに対応していません。
対処方法	マルチページ TIFF ファイルに対応したアプリケーションで開いてください。
現象	CapturePerfect で保存した TIFF ファイルが他のアプリケーションで開けない。
原因	CapturePerfect で保存した TIFF ファイルが圧縮されている場合、開こうとしたアプリケーションが、CapturePerfect で保存した圧縮形式に対応していません。
対処方法	画像ファイルの圧縮形式を [なし] に設定して CapturePerfect で保存し直してください。

× スキャン結果がおかしい

読み取った画像が鮮明でなかったり、画像に筋や汚れが付いているなど、スキャン結果の画像に問題があるときは、ISIS/TWAIN ドライバの設定が正しくなかったり、スキャナ内部の読み取りユニットに問題があることが原因として考えられます。また、ISIS/TWAIN ドライバが、正常にインストールされていなかったり、使用しているアプリケーションが ISIS/TWAIN ドライバの機能に対応していないこともスキャン結果がおかしくなる原因となります。

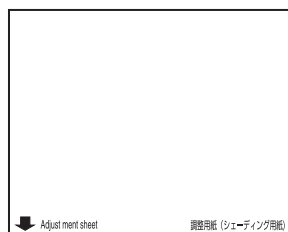
現象	スキャンした画像が濃い（または薄い）
原因	「明るさ」の設定が適正な値になっていません。
対処方法	画像が濃い場合には「明るさ」の設定値を高く、画像が薄い場合には「明るさ」の設定値を低く調整してください。
現象	原稿の裏面の文字が画像に写り込む。（裏写り）
原因	「明るさ」の設定値が低過ぎる。または、紙厚が薄い。
対処方法	「明るさ」の設定を高くしてください。紙厚が薄い場合には複写機でコピーしてからスキャンしてください。

現象	両面スキャンができない。
原因	「読み取り面」の設定が「片面」になっている。
対処方法	「読み取り面」の設定を「両面」にしてください。
現象	スキャンした原稿の周りに黒い枠ができる。
原因	設定した用紙サイズより小さい原稿をスキャンした。または、セットした原稿の位置がずれている。
対処方法	「用紙サイズ」の設定を「自動検知」に設定する。または、「黒枠消し」の設定をオンにします。
現象	スキャンした画像がななめになる。
原因	原稿が斜めに搬送されている。(斜行)
対処方法	原稿ガイドアダプタを使用して原稿の斜行を抑え、「斜行補正」をオンにします。(→P.20)
現象	画像にスジや汚れが入る。
原因	スキャナ本体内部の読み取りガラスやローラが汚れています。
対処方法	読み取りガラスとローラを清掃してください。 読み取りガラスやローラを清掃しても画像にスジが入る場合には、スキャナ本体内部の読み取りガラスにキズが付いている可能性があります。お買い求めの販売店または担当サービスに連絡してください。(→P.55)
現象	原稿によって画像が異常になる。
原因	原稿の端まで文字や写真などがある原稿をスキャンするときに、自動サイズ検知や、斜行補正、黒枠消しなどの機能を使用した。(原稿の端を正確に処理できない)
対処方法	原稿の端まで文字や写真などがある原稿の場合は、自動サイズ検知や、斜行補正、黒枠消しなどの機能を無効にしてスキャンしてください。
現象	アプリケーションによって画像が異常になる。
原因	アプリケーションが対応していない機能を使用した。
対処方法	アプリケーションによっては、用紙サイズの自動検知などには対応していないことがあります。このようなアプリケーションで読み取りを行った場合、異常なスキャン結果になることがあります。用紙サイズの自動検知などを行わずにスキャンしてみてください。

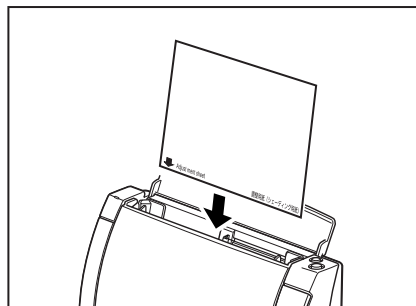
スキャナの調整

上記の対処方法を行ってもスキャン結果の画像に問題がある場合は、以下のスキャナの調整を実行してみてください。

スキャナの調整をするには、同梱されている調整用紙（シェーディング用紙）をスキャナにセットします。調整用紙は、矢印の向きにセットしてください。用紙をセットしたら、[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]（Windows XPの場合は[すべてのプログラム]）-[Canon Document Scanner]-[DR-2050C & 2080C Adjustment Tool]をクリックするか、ISIS/TWAINドライバの「スキャナの調整」機能を使用します。実行するとダイアログボックスが表示されますので、画面の指示に従って操作してください。ISIS/TWAINドライバの「スキャナの調整」機能については、ISIS/TWAINドライバのヘルプファイルを参照してください。



調整用紙



注意

スキャナの調整を実行する前に、必ずスキャナの読み取りガラスを清掃してください（→ P.55）。読み取りガラスにゴミが付いたままでスキャナの調整を実行すると、ゴミの影響で読み取り画像に縦線が入ることがあります。スキャナの調整を実行すると、調整前の調整データは消去され、復元できませんのでご注意ください。

4. ソフトウェアのアンインストール

ISIS/TWAIN ドライバ、ジョブ登録ツール、CapturePerfectが正常に動作しないような時は、次の手順でソフトウェアをアンインストールしてください。そして、DR-2050 シリーズセットアップディスクから、ソフトウェアを再インストールしてください。(→簡単スタートガイド「Step.3 ソフトウェアのインストール」)



お願い

Windows 2000 Professional、Windows XP を使用している場合は、必ず Administrator 権限でログオンしてください。

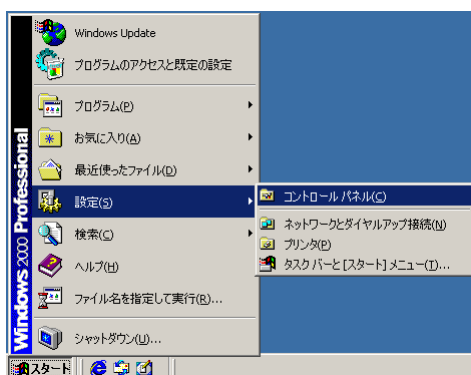


1 [スタート]ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル]をクリックします。



メモ

Windows XP の場合は[スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックします。



[コントロールパネル]ウィンドウが表示されます。



2 [アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。



メモ

Windows XP の場合は[プログラムの追加と削除]をクリックします。



[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



メモ

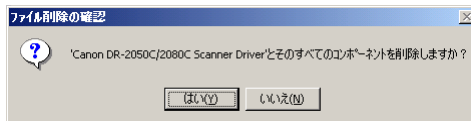
Windows XP の場合は [プログラムの追加と削除] ダイアログボックスが表示されます。

ISIS/TWAIN ドライバ / ジョブ登録ツールのアンインストール

- 1 プログラムの一覧から、[Canon DR-2050C/2080C Scanner Driver]（または、[DR-2050C ジョブツール]）を選択し、[変更と削除] ボタンをクリックします。

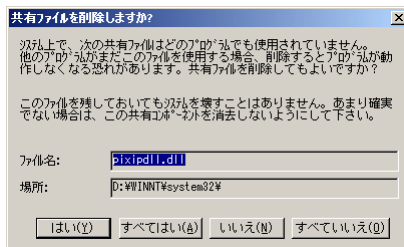


- 2 [ファイル削除の確認] 画面が表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。



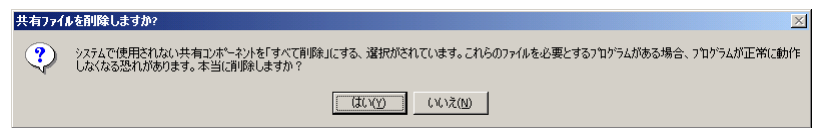
「共有ファイルを削除しますか？」画面が表示されます。

- 3 [すべてはい] ボタンをクリックします。



確認のメッセージが表示されます。

4 [はい]ボタンをクリックし、アンインストールを行ないます。



メモ
削除した共有ファイルは、ソフトウェアのインストールによりすべて再インストールされます。

5 アンインストールが完了したら[OK]ボタンをクリックし、プログラムの削除を終了させます。

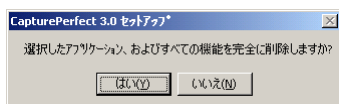


CapturePerfect のアンインストール

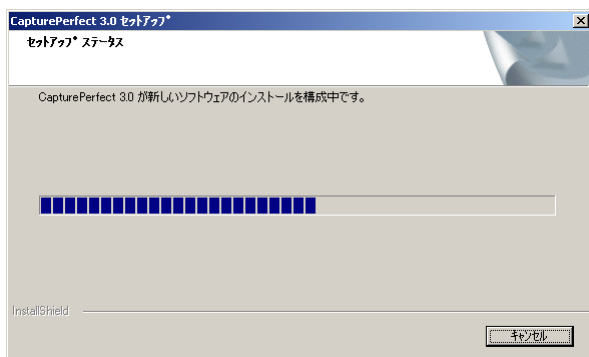
1 プログラムの一覧から、[CapturePerfect 3.0] を選択し、[削除]ボタンをクリックします。



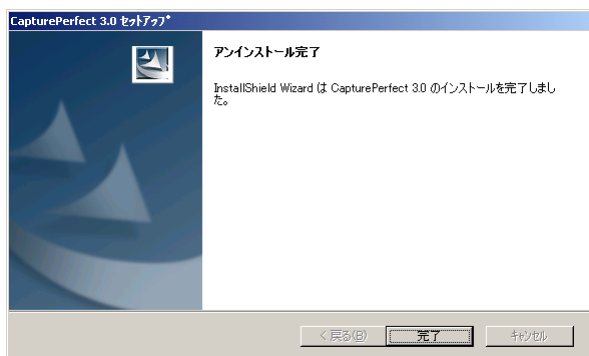
- 2 ▶ ファイル削除の確認画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。



アンインストールを行ないます。



- 3 ▶ アンインストールが完了したら[OK]ボタンをクリックし、プログラムの削除を終了させます。



5. 仕様

仕様

DR-2050SP プレゼンテーションモードの仕様については、「DR-2050 ユーザーズガイド プレゼンテーション編」をごらんください。

本体

形式	卓上型シートスルースキャナ
読み取り原稿サイズ	
幅：	55 - 216mm
長さ：（分離給紙）	70 - 297mm
（非分離給紙）	70 - 355mm
厚さ：（分離給紙）	52 - 128g/m ² (0.06mm - 0.15mm)
（非分離給紙）	42 - 157g/m ² (0.05mm - 0.2mm)
給紙方法	自動
読み取りセンサ	コンタクトイメージセンサ
光源	LED
読み取り面	片面 / 両面
読み取りモード	白黒、誤差拡散、256 階調グレースケール、テキストエンハンスト、アドバンスドテキストエンハンスメントII、24 ビットカラー
読み取り解像度 (主走査×副走査)	100 × 100dpi / 150 × 150dpi / 200 × 200dpi 240 × 240dpi / 300 × 300dpi / 400 × 400dpi 600 × 600dpi
読み取り速度 (条件：CPU Celeron 733MHz, 実装メモリ 256MB、原稿サイズ A4)	
白黒	片面 200 × 200dpi 20 枚 / 分 300 × 300dpi 11 枚 / 分 両面 200 × 200dpi 38 面 / 分 300 × 300dpi 20 面 / 分
グレースケール	片面 200 × 200dpi 20 枚 / 分 300 × 300dpi 11 枚 / 分 両面 200 × 200dpi 38 面 / 分 300 × 300dpi 20 面 / 分
24 ビットカラー	片面 100 × 100dpi 18 枚 / 分 200 × 200dpi 7 枚 / 分 両面 100 × 100dpi 36 面 / 分 200 × 200dpi 12 面 / 分
インターフェース	Hi-Speed USB 2.0
その他の機能	自動原稿厚調整、半折りスキャン
外形寸法	298(幅) × 100(奥行き) × 197(高さ)mm
(給紙トレイが開いている)	298(幅) × 132(奥行き) × 323(高さ)mm

質量	約 2,5kg (AC アダプタを除く)
電源	DC 16V 0.8A (AC アダプタ使用)
消費電力	動作時：最大 13W 待機時：4W
騒音	電源スイッチ OFF 時：0.4W 66dB 以下
使用環境	温度：10℃-32.5℃ 湿度：20%-80%RH

AC アダプタ (100 -240V 型)

型番	MG1-3607
入力	AC 100-240V 50/60Hz 65VA-82VA
出力	DC 16V 1.8A
消費電力	0.5W 以下 (AC アダプタ単体)
質量	約 0.3kg (電源コード含む)

交換部品

交換ローラキット (商品コード：7982A001)

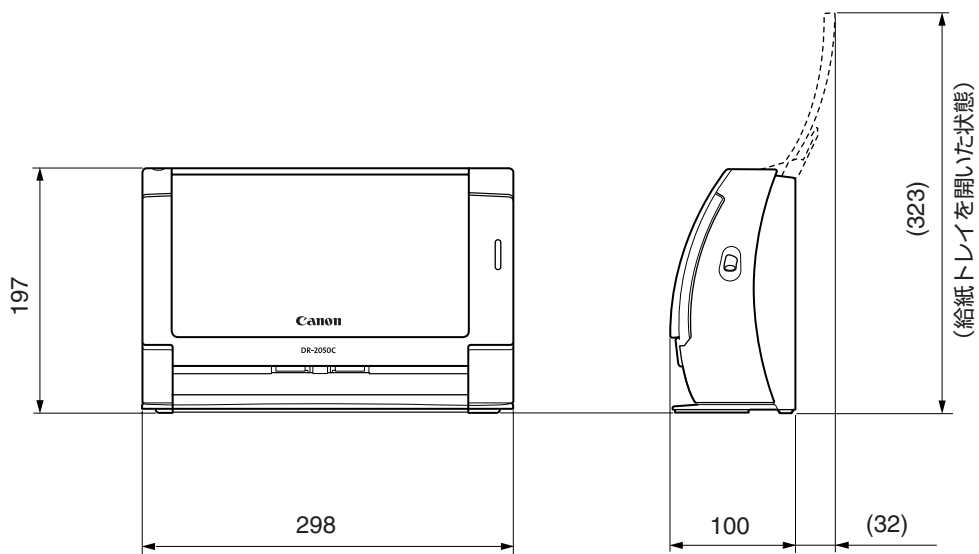
搬送ローラ (フィードローラ、リタードローラ) の交換キットです。

- ローラの交換については、P.58 「ローラの取り外し / 取り付け」を参照してください。
- 交換部品についての詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

製品改良のため仕様は予告なく変更することがあります。

外形寸法図

単位：mm



保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または次ページに記載されているサービス窓口へご相談ください。

■修理を依頼される前に

67ページの「困ったときは」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後7年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理受付窓口

保証内容や修理についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、下記のキヤノンサービスセンターへお問い合わせください。下記、修理受付窓口の受付時間は、9:00AM～5:30PMです。土曜、日曜、祝祭日は休まさせていただきます。(ただし、東京QRセンター、新宿QRセンターの営業時間は、10:00AM～6:00PM、休業日は日曜、祝祭日です。)また、※印のQRセンター、サービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。お願い：DR-2050CII/SPのお取扱い方法のお問い合わせは、必ず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

北海道地区

※札幌サービスセンター

TEL 011-728-0665 〒0608522 北海道札幌市北区北7条西1-1-2 SE山京ビル1F

東北地区

※仙台QRセンター

TEL 022-217-3210 〒9808560 宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビルディング1F

関東・信越地区

東京QRセンター

TEL 03-3837-2961 〒1100005 東京都台東区上野1-1-12 信井ビル1F

新宿QRセンター

TEL 03-3348-4725 〒1630401 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1F

横浜QRセンター

TEL 045-312-0211 〒2200004 神奈川県横浜市西区北幸2-6-26 HI横浜ビル2F

東日本修理センター

TEL 043-211-9032 〒2618711 千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2 キヤノンMJ幕張事業所1F

※キヤノンテクニカルセンター（郵送・宅配のみ）

TEL 0297-35-5000 〒3060605 茨城県坂東市馬立(7坊)1234 F7棟3F

中部・北陸地区

※名古屋QRセンター

TEL 052-939-1830 〒4618511 愛知県名古屋市東区東桜2-2-1 高岳パークビル1F

近畿地区

※大阪QRセンター

TEL 06-6459-2565 〒5300005 大阪府大阪市北区中之島6-1-21 キヤノンビジネスサポート中之島ビル2F

中国・四国地区

広島サービスセンター

TEL 082-240-6712 〒7300051 広島県広島市中区大手町3-7-5 広島パークビル1F

九州地区

※福岡QRセンター

TEL 092-411-4173 〒8120017 福岡県福岡市博多区美野島1-2-1 キヤノンMJ福岡ビル1F

2006年10月1日現在 上記の内容は、都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

サービス&サポートのご案内

● お客様相談センター

取扱い方法および修理に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター
全国共通電話番号



050-555-90072

受付時間： <平日> 9:00～12:00 / 13:00～17:00

(土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませさせていただきます。)

- ※ 本製品にバンドルされているアドビ製品についてのお問い合わせについては、86ページ「アドビシステムズ社製品について」をご参照ください。
- ※ 上記番号は050から始まるIP電話（株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー（NTT-ME）のXePhion Call Direct）を利用しています。
NTTの固定電話（一般回線）から地域・時間帯にかかわらず同一通話料金（10.4円／3分）でご利用になれます。
- ※ 携帯電話・PHSをご利用の場合、ご契約先携帯電話事業者の定める通話料金となります。詳しくはご契約の携帯電話事業者にお問い合わせください。尚、一部のPHSからはご利用いただけませんのでご了承ください。
- ※ お客さまが050から始まるIP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。IP電話からのご利用は、IP電話事業者間の接続状況によります。NTT-MEのXePhion Call Directの上記番号との通話（接続）可否については、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。IP電話からつながらない場合の事象（話中音、アナウンス、ブザー音など）はプロバイダーによって異なります。
また、IP電話の相互通話であっても上記番号との通話料金はプロバイダーによって異なります。詳しくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- ※ 上記番号におかけになってもつながらない場合は、NTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、**043-211-9156** におかけくださいますようお願いいたします。
- ※ お客様相談センターの詳細につきましてはキヤノンホームページ (<http://cweb.canon.jp/e-support/rc/>) をご参照ください。

● 消耗品の入手方法

消耗品はお買い上げ頂いた販売店、お近くのキヤノン製品取扱店およびキヤノンマーケティングジャパン（株）販売窓口にてご購入ください。尚、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

● キヤノンホームページ <http://canon.jp/>

- ※ <http://canon.jp/support> では、製品情報、最新ドライバのダウンロード、QA検索などの情報が掲載されています。是非ご利用ください。
- ※ ホームページのレイアウトは、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- ※ 通信料はお客様のご負担になります。

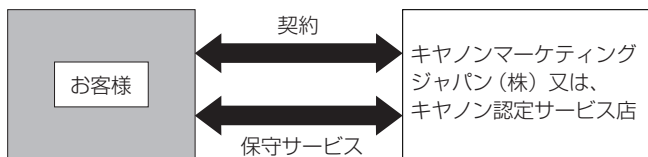
保守サービスのご案内

■ ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはドキュメントスキャナをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくドキュメントスキャナの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行ないます。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するサービスです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



■ 精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機器は精密機器です。万一、思いがけないトラブルが発生した場合、時間的なロスだけでなく、予期せぬ出費が発生します。そこで、トラブルが起こってからではなく、事前に一定の料金をお支払いいただくことで、ご愛用の機器の修理に備えるのがキヤノンの保守契約制度です。

キヤノン保守契約制度のメリット

■ 都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ 保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

※天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。

※消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります。

購入時契約のおすすめ

ご愛用品は原則として保守契約に加入してご使用願うことになっております。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。

キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いします。

アドビシステムズ社製品について

この製品には「Adobe Acrobat」がバンドルされています。「Adobe Acrobat」のインストールおよびサポートについては、以下をご参照ください。

■ インストール

Adobe Acrobat DVD を DVD-ROM ドライブに挿入し、Adobe Acrobat をインストールして使用します。DVD から Acrobat ソフトウェアを直接起動し、実行することはできません。

画面に表示される指示に従ってインストールします。詳細については DVD に収納されている **How To Install** ファイルをご覧ください。なお、インストールの際には Adobe Acrobat DVD が収納されているソフトケースに記載されているシリアル番号が必要になりますので、シリアル番号の控えを手元に保管、管理していただくようお願い致します。

■ アドビ製品のサポートについて

本製品にバンドルされておりますアドビ製品 Adobe® Acrobat® 製品のサポートについては、オンラインで提供されている無償のサービス&サポートデータベースやアドビユーザフォーラム、お電話での有償サポートをご利用いただけます。

サポートの内容について

1. インターネット（アドビホームページ）からの技術情報提供

営業時間	年中無休（メンテナンス期間を除く）
サポート料金	無料
サポート内容	以下の Web サイトよりサポート、技術情報や FAQ の検索ができます。 http://www.adobe.com/jp/support/acrobat/

2. 製品テクニカルサポート

アドビ製品 Adobe® Acrobat® についての技術的なご質問に関するサポートは、有償サポートを通してのみご利用いただけます。有償テクニカルサポートプログラムのお申込み、契約内容については以下の Web ページをご覧ください。

Adobe- サポートプログラム
<http://www.adobe.com/jp/support/programs/>

最新のサポート情報につきましては、以下のサポートページをご覧ください。

<http://www.adobe.com/jp/support/>

■ アドビ製品のユーザ登録について

アドビ製品の情報をいち早く入手するために、ユーザ登録をお勧めします。
シリアル番号は、お客様のライセンスを特定する個別の番号で非常に重要なものです。
ユーザ登録は以下の方法で行うことができます。

1. 製品インストール時に表示されるユーザ登録画面から登録できます。(インターネット環境が必要です)
2. アドビのホームページからオンライン登録します。

<http://www.adobe.com/jp/register>

アドビのプライバシーポリシーについては、
<http://www.adobe.com/jp/misc/privacy.html>
をご覧ください。

■ ライセンス認証について

Adobe 製品を使用するには、正規にご購入いただいたお客様の使用権利を守るため、「ライセンス認証」という簡単な手続きが必要です。2008年6月以降にリリースされたバージョン (Adobe® Acrobat® 9を含む) では、インターネット接続が検出されたときに、ライセンス認証手続きを促すメッセージが自動的に表示されます。その指示にしたがえば、ライセンス情報がアドビに送信され、検証が行われます。

詳しくは、下記の Web ページをご覧ください。

製品ライセンス認証センター

<http://www.adobe.com/jp/activation/>

その他：

上記情報は、アドビの都合により変更される場合がありますので、適宜、アドビのホームページによりご確認くださいませようお願い申し上げます。

(本ドキュメントの内容は2008年1月現在のものです)

索引

英字

ACアダプタ	7
CapturePerfect	16, 26, 71
DR-2050CII/SP Driver	16
ISIS ドライバ	45
OPEN つまみ	12
TWAIN ドライバ	45
USB コネクタ	13

A行

アドビシステムズ社製品について	86
イベント機能	35
上カバー	12
オペレーティングシステム	14

カ行

外形寸法図	81
カウンタ	59
各部の名称	12
紙詰まり	39
簡単スタートガイド	1
給紙インジケータ	12
給紙切替レバー	12, 21, 24, 25
給紙口	12
給紙トレイ	12
給紙補助プレート	12, 20
原稿ガイド	12
原稿ガイドアダプタ	12, 20, 25
原稿について	18
原稿のセット	21
ケンジントン	13
困ったときは	67
こんなときは	41

サ行

修理受付窓口	83
仕様	79
ジョブ機能	32
ジョブ登録ツール	33, 45
推奨インタフェースカード	14
スキャナの移動	7
スキャナの準備	19
給紙補助プレート	20
給紙トレイ	19
原稿ガイドアダプタ	20
スキャン方法	26
スキャンボタン	12
ストップボタン	12

清掃

金属ローラ	57
本体	54
読み取りガラス	55
ローラ	55
設置場所	6
セットアップディスク	16
選んでインストール	16
おまかせインストール	16
マニュアルを読む	16
ソフトウェア	
アンインストール	74
設定項目	45

タ行

通気孔	13
電源コネクタ	13
電源スイッチ	13
電源ランプ	12
動作環境	14
特長	10

ナ行

日常のお手入れ	54
日常の取り扱い	8

ハ行

廃棄	9
排紙口	12
はじめに	1
半折り	25
非分離給紙	24
フィードローラ	56, 61
取り付け	62
取り外し	61
分離給紙	21
保証とアフターサービス	82

マ行

マーク	13
前ユニット	12
マニュアルの構成	1

ラ行

リタードローラ	56, 64
取り付け	65
取り外し	64

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6 CANON **S**TOWER

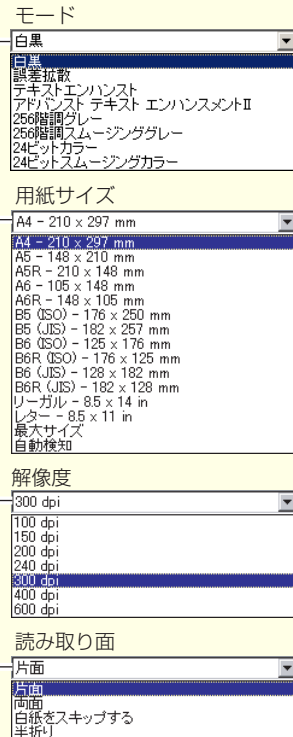
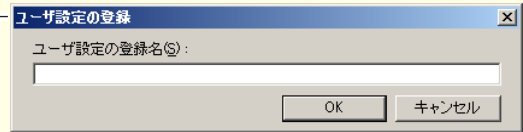
Canon DR-2050CII ISIS ドライバ クイックガイド

本クイックガイドは、スキャナの近くに置いてお使いください。

基本設定ダイアログボックス

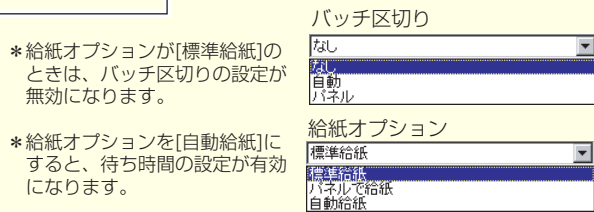


ユーザ設定の登録



* 白黒の場合、[コントラスト]の設定が自動になり、テキストエンハンスのときは、[明るさ]と[コントラスト]の設定が自動になります。

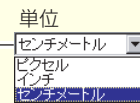
* 解像度が600dpiのとき、スムージングモードは表示されません。



スキャン領域ダイアログボックス



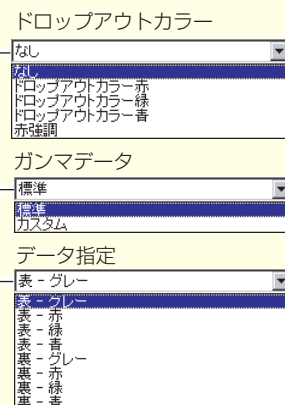
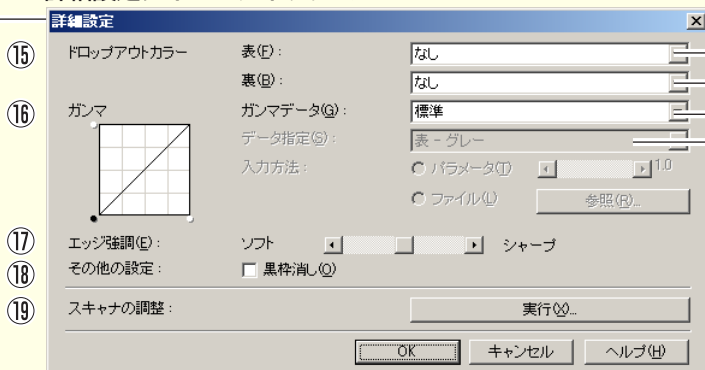
カスタム用紙サイズの登録



* 用紙サイズが[自動検知]になっていると、領域の設定ができません。

* [斜行補正]がオンになっていると、指定した領域がスライスしてスキャンされます。

詳細設定ダイアログボックス



* ガンマデータを[カスタム]にすると、用紙サイズの[自動検知]、読み取り面の[白紙スキップ]、[斜行補正]の機能が無効になり[明るさ]、[コントラスト]の設定が自動になります。

⚠ 「スキャナの調整」は、スキャンした画像に異常がある場合にスキャナの基準値を調整するための機能です。スキャンした画像に異常がない時には絶対に実行しないでください。

Canon DR-2050CII ISIS ドライバ クイックガイド

本クイックガイドは、スキャナの近くに置いてお使いください。

基本設定ダイアログボックス

① ユーザ設定

設定した内容に名称を付けて登録します。

☞ 入力は、半角で32文字、全角で16文字以下。

② モード

スキャンするモードを選択します。

☞ [テキストエンハンスメント]、[アドバンスドテキストエンハンスメントⅡ]は原稿の下地や背景を処理し、文字を強調させて読みやすくします。

☞ [スムージンググレー/カラー]は解像度が400DPI以下のときに表示され、画像を平均化してモアレの発生を抑えます。

③ 用紙サイズ

スキャンする原稿のサイズを選択します。

☞ [自動検知]を選択すると、原稿のサイズを検知してスキャンを行ないます。

④ 解像度

スキャンする解像度を選択します。

⑤ 明るさ

明るさを調整します。

モードの設定で[テキストエンハンスメント]を選択している場合、明るさは自動になります。

⑥ コントラスト

コントラストを調整します。

モードの設定で[白黒]、[テキストエンハンスメント]を選択している場合、[コントラスト]は自動になります。

⑦ 読み取り面

原稿をスキャンする面を選択します。

☞ [白紙をスキップする]を選択すると、[黒い点の割合]によって白紙と判断された画像をスキップします。

☞ [半折り]は、原稿の両面をスキャンし、表裏の画像を1枚の画像に合成します。詳細については「ユーザーズガイド」を参照してください。

☞ [表裏反転]をチェックすると、原稿の表裏が逆になります。

☞ [黒い点の割合]は、白紙をスキップするときの黒い部分の割合(0~20%)を指定します。

⑧ 給紙オプション

原稿の給紙方法を選択します。

☞ [標準給紙]は、原稿をセットした後のスキャン操作をすべてアプリケーションで行ないます。

☞ [パネルで給紙]は、原稿をセットした後、スキャナ本体のスキャンボタンでスキャンを開始します。

☞ [自動給紙]は、スキャナが原稿のセットを感知するとスキャンが開始されます。

⑨ バッチ区切り

給紙オプションで[パネルで給紙]、[自動給紙]が選択されているときに有効になり、原稿の束毎にバッチを区切ることができます。

☞ [自動]は、[パネルで給紙]、[自動給紙]でスキャンが開始されるタイミングでバッチが区切られます。

☞ [パネル]は、スキャンパネルの[バッチ区切り]ボタンでバッチが区切られます。

⑩ 斜行補正

原稿が斜めに給紙されたとき、スキャンした画像をまっすぐに補正します。

⑪ プレスキャン

スキャン開始時に原稿を1枚スキャンし、プレスキャンウィンドウに画像を表示します。

スキャン領域ダイアログボックス

⑫ 用紙サイズ

スキャンする原稿のサイズを選択します。

☞ [カスタム]ボタンを押すと、非定型サイズの原稿をカスタム用紙サイズとして登録することができます。

⑬ 領域

スキャンする領域を選択します。

☞ 用紙サイズが[自動検知]の場合は無効になります。

⑭ 領域ウィンドウ

用紙サイズの設定に合わせて表示が変化します。

☞ マウスでドラッグして読み取り領域を指定することもできます。

詳細設定ダイアログボックス

⑮ ドロップアウトカラー

読み取りのモードが[24ビットカラー]以外のときに有効で、赤/緑/青色の読み飛ばし(ドロップアウト)または、赤色の強調を表裏別に設定します。

⑯ ガンマ

標準のガンマカーブを変更するときに、ガンマデータを[カスタム]にしてガンマカーブを変更します。詳細な設定については、「ヘルプ」ボタンを押してヘルプを参照してください。

⑰ エッジ強調

画像の輪郭を強調します。

⑱ 黒枠消し

スキャンした画像の周りにできる黒い部分を消去します。

⑲ スキャナの調整

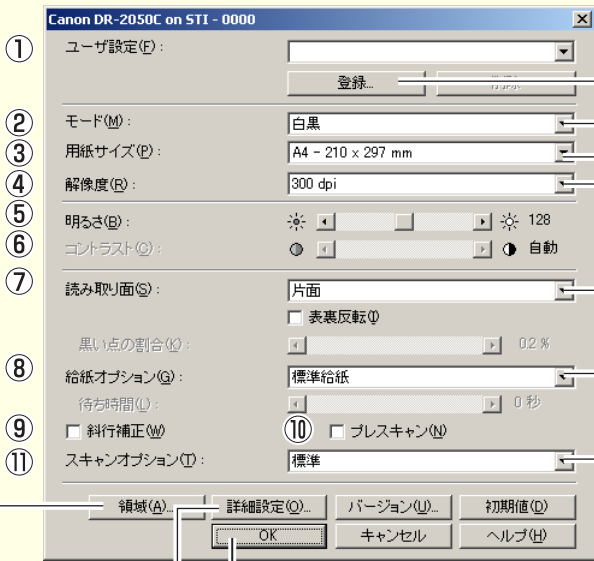
スキャナの調整は、スキャンした画像に異常があり、通常のメンテナンスでは画像が改善されないときにスキャナの基準値を調整するための機能です。スキャナの調整については、ユーザーズガイドのP.73「スキャナの調整」を参照してください。

本クイックガイドでは、CaptuerPerfectで表示されるダイアログボックスについて説明しています。アプリケーションによっては基本設定ダイアログボックスが表示されない場合があります。このようなときは、基本設定ダイアログボックスの機能の一部が盛り込まれた詳細設定ダイアログボックスが表示されます。詳細については、「ヘルプ」ボタンを押してヘルプを参照してください。

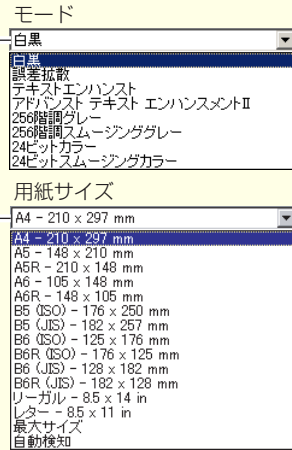
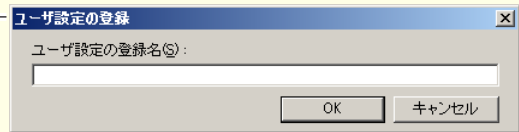
Canon DR-2050CII TWAIN ドライバ クイックガイド

本クイックガイドは、スキャナの近くに置いてお使いください。

基本設定ダイアログボックス



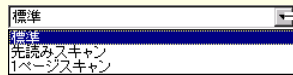
ユーザ設定の登録



* 白黒の場合、[コントラスト]の設定が自動になり、テキストエンハンスのときは、[明るさ]と[コントラスト]の設定が自動になります。
 * 解像度が600dpiのとき、スムージングモードは表示されません。

基本設定ダイアログボックスから直接スキャンを実行するアプリケーションの場合、[OK] ボタンの代わりに[スキャン] ボタンが表示され、さらにスキャン領域ダイアログボックスに領域ウィンドウが表示されます。

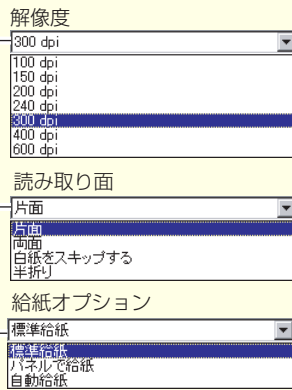
スキャンオプション



スキャン領域ダイアログボックス

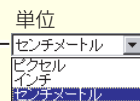
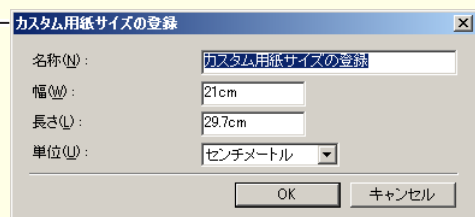


* 用紙サイズが[自動検知]になっていると、領域の設定ができません。
 * [斜行補正]がオンになっていると、指定した領域がズレてスキャンされます。

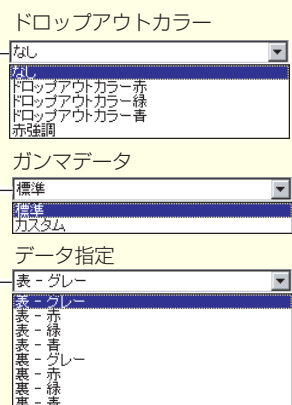
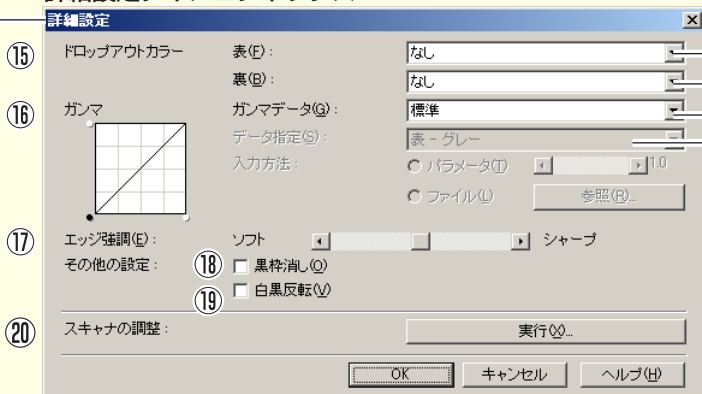


* 白紙スキップは、[黒い点の割合]の設定で白紙を判断します。
 * 給紙オプションを[自動給紙]にすると、待ち時間の設定が有効になります。

カスタム用紙サイズの登録



詳細設定ダイアログボックス



* ガンマデータを[カスタム]にすると、用紙サイズの[自動検知]、読み取り面の[白紙スキップ]、[斜行補正]の機能が無効になり[明るさ]、[コントラスト]の設定が自動になります。

⚠ 「スキャナの調整」は、スキャンした画像に異常がある場合にスキャナの基準値を調整するための機能です。スキャンした画像に異常がない時には絶対に実行しないでください。

本クイックガイドは、スキャナの近くに置いてお使いください。

基本設定ダイアログボックス

- ① ユーザ設定
設定した内容に名称を付けて登録します。
- ② モード
スキャンするモードを選択します。
 - ☞ [テキストエンハンスメント]、[アドバンスドテキストエンハンスメントⅡ] は原稿の地下や背景を処理し、文字を強調させて読みやすくします。
 - ☞ [スムージンググレー/カラー] は解像度が400DPI以下のときに表示され、画像を平均化してモアレの発生を抑えます。
- ③ 用紙サイズ
スキャンする原稿のサイズを選択します。
 - ☞ [自動検知] を選択すると、原稿のサイズを検知してスキャンを行いません。
- ④ 解像度
スキャンする解像度を選択します。
- ⑤ 明るさ
明るさを調整します。
モードの設定で [テキストエンハンスメント] を選択している場合、明るさは自動になります。
- ⑥ コントラスト
コントラストを調整します。
モードの設定で [白黒]、[テキストエンハンスメント] を選択している場合、[コントラスト] は自動になります。
- ⑦ 読み取り面
原稿をスキャンする面を選択します。
 - ☞ [白紙をスキップする] を選択すると、[黒い点の割合] によって白紙と判断された画像をスキップします。
 - ☞ [半折り] は、原稿の両面をスキャンし、表裏の画像を1枚の画像に合成します。詳細については「ユーザーズガイド」を参照してください。
 - ☞ [表裏反転] をチェックすると、原稿の表裏が逆になります。
 - ☞ [黒い点の割合] は、白紙をスキップするときの黒い部分の割合 (0 ~ 20%) を指定します。
- ⑧ 給紙オプション
原稿の給紙方法を選択します。
 - ☞ [標準給紙] は、原稿をセットした後のスキャン操作をすべてアプリケーションで行いません。
 - ☞ [パネルで給紙] は、原稿をセットした後、スキャナ本体のスキャンボタンでスキャンを開始します。
 - ☞ [自動給紙] は、スキャナが原稿のセットを感知するとスキャンが開始されます。
- ⑨ 斜行補正
原稿が斜めに給紙されたとき、スキャンした画像をまっすぐに補正します。
- ⑩ プレスキャン
スキャン開始時に原稿を1枚スキャンし、プレスキャンウィンドウに画像を表示します。

- ⑪ スキャンオプション
スキャン時の動作を指定します。
 - ☞ [標準] は、読み取った原稿を排紙してから次の原稿をスキャンします。
 - ☞ [先き読みスキャン] は、原稿を連続してスキャンします。
 - ☞ [1 ページスキャン] は、読み取り面の設定が [片面] に固定され、原稿を1枚だけスキャンします。

スキャン領域ダイアログボックス

- ⑫ 用紙サイズ
スキャンする原稿のサイズを選択します。
 - ☞ [カスタム] ボタンを押すと、非定型サイズの原稿をカスタム用紙サイズとして登録することができます。
- ⑬ 領域
スキャンする領域を選択します。
 - ☞ 用紙サイズが [自動検知] の場合は無効になります。
- ⑭ プレビュー
領域ウィンドウが表示されるアプリケーションで使用するときこのボタンも有効になり、原稿を1枚スキャンして領域ウィンドウにプレビュー画像を表示します。
 - ☞ ジョブ登録ツールではこのボタンは使用できません。

詳細設定ダイアログボックス

- ⑮ ドロップアウトカラー
読み取りのモードが [24ビットカラー] 以外のときに有効で、赤 / 緑 / 青色の読み飛ばし (ドロップアウト) または、赤色の強調を表裏別に設定します。
- ⑯ ガンマ
標準のガンマカーブを変更するときに、ガンマデータを [カスタム] にしてガンマカーブを変更します。詳細な設定については、「ヘルプ」ボタンを押してヘルプを参照してください。
- ⑰ エッジ強調
画像の輪郭を強調します。
- ⑱ 黒枠消し
スキャンした画像の周りにできる黒い部分を消去します。
- ⑲ 白黒反転
モードの設定が [白黒]、[誤差拡散]、[テキストエンハンスメント] のときに原稿を白黒反転させてスキャンします。
- ⑳ スキャナの調整
スキャナの調整は、スキャンした画像に異常があり、通常のメンテナンスでは画像が改善されないときにスキャナの基準値を調整するための機能です。スキャナの調整については、ユーザーズガイドの P.73 「スキャナの調整」を参照してください。

本クイックガイドは、ジョブ登録ツールで表示されるダイアログボックスについて説明しています。詳細については、「ヘルプ」ボタンを押してヘルプを参照してください。

Canon DR-2050CII ジョブ登録ツール クイックガイド

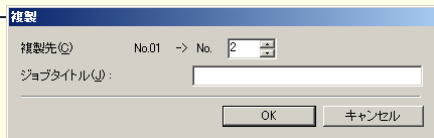
本クイックガイドは、スキャナの近くにおいてお使いください。

ジョブ登録ツールダイアログボックス

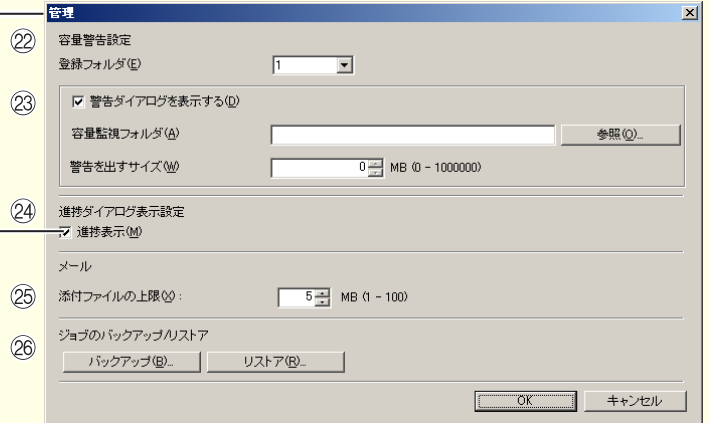


①

複製ダイアログボックス



管理設定ダイアログボックス



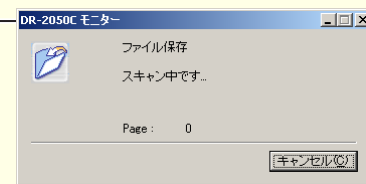
②

③

④

⑤

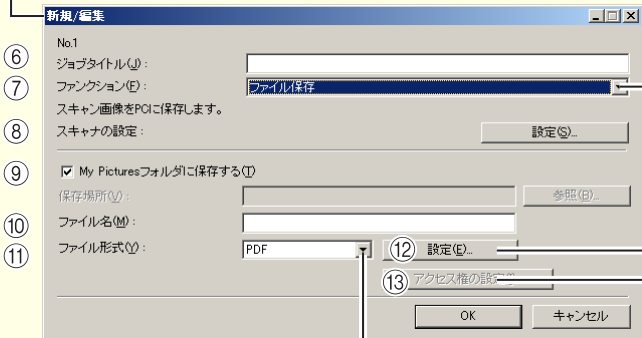
⑥



新規/編集ダイアログボックス

ファンクションの設定に合わせてダイアログボックスが変更します。

ファイル保存



⑥

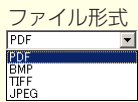
⑦

⑧

⑨

⑩

⑪



* [PDF]、[TIFF]を選択したときに[設定]ボタンが有効になります。

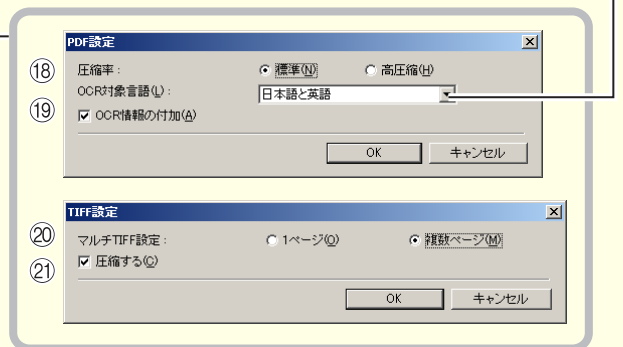
ファンクション



OCR言語



PDF/TIFF設定



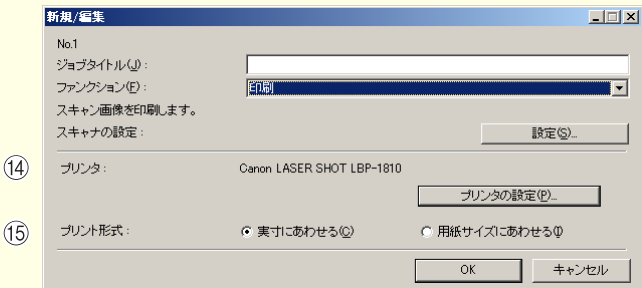
⑱

⑲

⑳

㉑

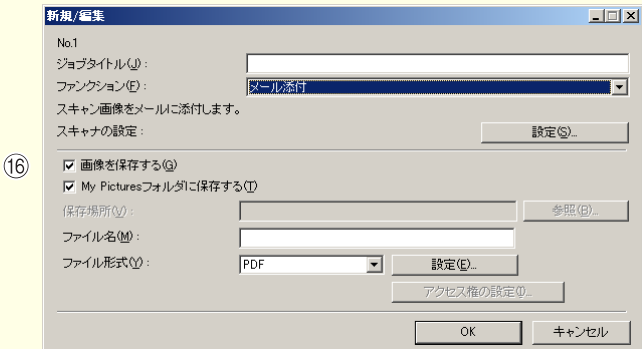
印刷



⑭

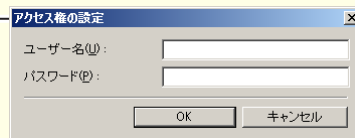
⑮

メール添付

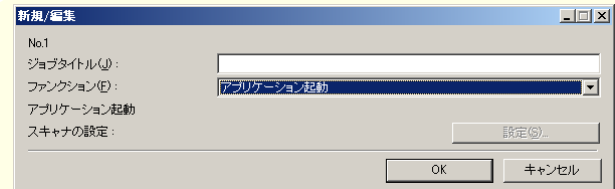


⑯

アクセス権の設定 (Windows2000/XP)



⑰ アプリケーション起動



Canon DR-2050CII ジョブ登録ツール クイックガイド

本クイックガイドは、スキャナの近くに置いてお使いください。

ジョブ登録ツールダイアログボックス

- ① **ジョブ一覧**
登録されているジョブを表示します。
☑ 色の付いているアイコン () のジョブがスキャンボタンを押したときに実行されます。
- ② **【新規 / 編集】 ボタン**
新規 / 編集ダイアログボックスを開きます。
- ③ **【複写】 ボタン**
登録されているジョブを別の番号にコピーします。
- ④ **【削除】 ボタン**
登録されているジョブを削除します。
- ⑤ **【管理】 ボタン**
管理ダイアログボックスを開きます。

新規 / 編集ダイアログボックス

- ⑥ **ジョブタイトル**
表示パネルに表示させるジョブのタイトルを入力します。
- ⑦ **ファンクション**
スキャンボタンに割り当てる機能を選択します。
☑ 編集ダイアログボックスは、[ファンクション] の選択によってダイアログボックスが変更します。
- ⑧ **スキャナの設定**
TWAINドライバ設定ダイアログボックスを開きスキャン条件を設定します。
- ⑨ **My Pictures フォルダに保存する**
スキャンした画像ファイルをマイドキュメントの中にある My Pictures フォルダに保存します。
☑ このチェックボックスをオフにすると保存場所を指定できます。
- ⑩ **ファイル名**
ファイル名を指定します。
☑ 保存されるファイル名は、指定したファイル名にタイムスタンプが付加されて保存されます。
- ⑪ **ファイル形式**
保存するファイル形式を選択します。
☑ PDF/TIFFを選択した場合、[設定] ボタンが有効になります。
- ⑫ **【設定】 ボタン**
ファイル形式で PDF/TIFF を選択したときに有効になり PDF/TIFF 設定ダイアログボックスを開きます。
☑ PDF 設定ダイアログボックス では、[圧縮] の設定と [OCR] の設定を行ないます。
☑ TIFF 設定ダイアログボックス では、[マルチ TIFF 設定] と [圧縮] の設定を行ないます。
- ⑬ **【アクセス権の設定】 ボタン**
Windows2000/XPのときに表示され、アクセス権の設定ダイアログボックスを開きます。
☑ ネットワーク上の共有フォルダにアクセス権が無い場合に、アクセスするためのユーザー名とパスワードを入力します。
- ⑭ **プリンタ**
「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタが表示され、[プリンタの設定] ボタンでプリンタの設定を変更します。
- ⑮ **プリント形式**
印刷するサイズを指定します。
☑ [実寸にあわせる] は、原稿と同じサイズで印刷します。
☑ [用紙にあわせる] は、スキャンした画像が印刷する用紙より大きいときに、印刷する用紙のサイズに合わせて印刷します。スキャンした画像が印刷する用紙より小さいときは、原稿と同じサイズで印刷します。

- ⑯ **画像を保存する**
「メール添付」で、スキャンした画像を保存する場合にチェックします。
- ⑰ **アプリケーション起動**
Windowsのイベント機能で設定されているアプリケーションを起動します。詳細についてはユーザーズガイドを参照してください。

PDF/TIFF 設定

- ⑱ **圧縮率**
圧縮率 (標準、高圧縮) を選択します。
☑ 高圧縮を選択した場合、ファイルサイズが小さくなりますが、画質が若干低下します。
☑ この設定は、グレースケール、カラー画像に対して有効です。
- ⑲ **OCR 情報の付加 / OCR 対象言語**
原稿内の活字に対して文字認識を行ない、PDF ファイルにテキストデータを付加します。
☑ [OCR情報を付加] をオンにして保存されたPDFファイルには、活字の部分に認識したテキストデータが保存されています。
- ⑳ **マルチ TIFF 設定**
複数ページある画像の保存方法について設定します。
☑ [1 ページ] は、1 ページ / 1 ファイルで、画像の枚数だけの TIFF ファイルが作られます。
☑ [複数ページ] は、全ページの画像を 1 ファイルに保存します。
- ㉑ **圧縮する**
画像ファイルを圧縮して保存します。
☑ 白黒画像の場合、「CCITT グループ4」、グレースケール、カラー画像の場合は、「JPEG」で圧縮されます。

管理ダイアログボックス

- ㉒ **容量警告設定**
画像ファイルを保存するフォルダを指定し、そのフォルダに保存できる容量をあらかじめ設定しておきます。
☑ 設定したフォルダを指定してスキャンを開始し、スキャン中に設定した容量を越えた場合に警告メッセージを表示します。
- ㉓ **登録フォルダ / 警告ダイアログを表示する**
登録フォルダの番号を選択し、「警告ダイアログボックスを表示する」をチェックすると [容量監視フォルダ] と [警告を出すサイズ] が有効になります。
☑ 容量警告が表示された時はメッセージに従ってスキャンを行なってください。
- ㉔ **進捗表示**
スキャンを開始した時に、「DR-2050C モニター」を表示させて、進捗状況を表示します。
- ㉕ **添付ファイルの上限**
電子メールに添付する画像ファイルのサイズを制限します。
- ㉖ **ジョブのバックアップ / リストア**
登録したジョブをバックアップ / リストア (復元) します。
☑ バックアップファイルは、他の DR-2050C に復元させて使用することができます。

本クイックガイドでは、ジョブ登録ツールの設定項目について説明しています。詳細については、「ヘルプ」ボタンを押してヘルプを参照してください。